

文化庁メ芸シンポ

美術・歴史・日本
自作を語るための歴史とは

2015年2月15日(日)13:00開始

国立新美術館3F講堂

(最初に表示してだしっぱにしておく用)

中ザワヒデキ パワポプレゼン

それでは始めます。三人でのトークに先立つ僕からのプレゼンテーションとして、なるべく短めにサクサク終わられればと思います。

中ザワヒデキです

改めまして中ザワヒデキと申します。中が漢字、ザワヒデキが片仮名です。

中ザワヒデキです

・ 美術家

肩書は美術家です。僕の美術家としての作品や活動をご存じの方も、そうでない方も、本日はよろしく願いいたします

中ザワヒデキです

- 美術家
- 『現代美術史日本篇 1945-2014』

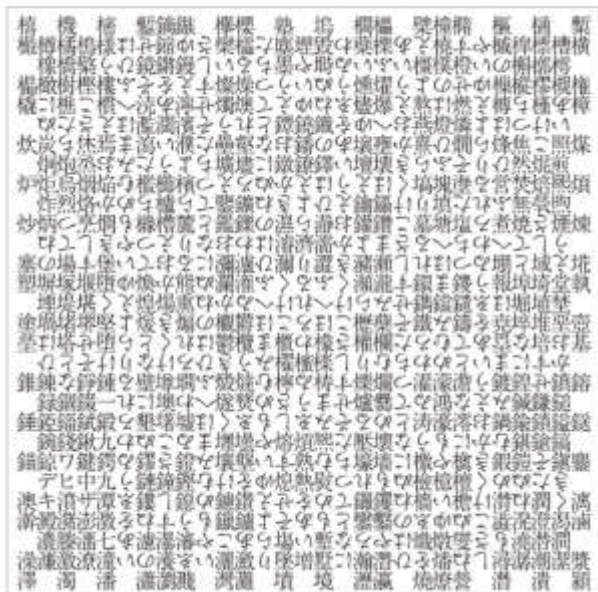
昨年暮れに『現代美術史日本篇 1945-2014』という本を出しました。この本をすでにお読みいただいたという方も、ぜんぜんお読みではないという方も、本日はよろしくお願いたします。



バカCG 1990

美術家としてはこういった作品や、

方法絵画 1997



こういった作品、

最新作 2014



| | | | | |
|---------|---------|---------|----------|----------|
| C= 0.0% | C=58.3% | C=87.5% | C=29.2% | C=75.0% |
| M=75.8% | M= 8.3% | M=66.7% | M=58.3% | M=20.8% |
| Y=62.5% | Y=29.2% | Y=16.7% | Y=45.8% | Y=95.8% |
| C=91.7% | C=33.3% | C=62.5% | C=16.7% | C=45.8% |
| M=45.8% | M=37.5% | M=83.3% | M=12.5% | M=70.8% |
| Y=58.3% | Y=67.5% | Y=75.0% | Y=20.8% | Y= 8.3% |
| C=79.2% | C= 4.2% | C=50.0% | C=95.8% | C= 20.8% |
| M= 0.0% | M=75.0% | M=50.0% | M=25.0% | M=100.0% |
| Y=33.3% | Y= 0.0% | Y=50.0% | Y=100.0% | Y= 66.7% |
| C=54.2% | C=83.3% | C=37.5% | C=66.7% | C= 8.3% |
| M=29.2% | M=87.5% | M=16.7% | M=62.5% | M=54.2% |
| Y=91.7% | Y=79.2% | Y=25.0% | Y=12.5% | Y=41.7% |
| C=25.0% | C=70.8% | C=12.5% | C=41.7% | C=100.0% |
| M=79.2% | M=41.7% | M=33.3% | M=91.7% | M= 4.2% |
| Y= 4.2% | Y=54.2% | Y=83.3% | Y=70.8% | Y= 37.5% |

こういった作品を発表しています。



現代美術史日本篇
1945-2014

ART HISTORY: JAPAN
1945-2014

本の表紙です。2014年11月21日にアートダイバー社から刊行されました。

| 目次 Table of Contents | |
|-------------------------|------------------------|
| 序 本書の構成 | 3 |
| 序論 本書の構成 | 4 |
| 目次 | 5 |
| 本書の構成 | 6 |
| Chapter 1 1945-1954 | シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況 |
| 14 | シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況 |
| 15 | シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況 |
| 16 | シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況 |
| 17 | シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況 |
| 18 | シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況 |
| 19 | シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況 |
| Chapter 2 1955-1959 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 20 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 21 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 22 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 23 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 24 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| Chapter 3 1960-1963 | 反芸術 - 反芸術、アンチアート |
| 25 | 反芸術 - 反芸術、アンチアート |
| 26 | 反芸術 - 反芸術、アンチアート |
| 27 | 反芸術 - 反芸術、アンチアート |
| 28 | 反芸術 - 反芸術、アンチアート |
| 29 | 反芸術 - 反芸術、アンチアート |
| 30 | 反芸術 - 反芸術、アンチアート |
| Chapter 4 1964-1979 | 還元主義と多様性 - 戦後、戦後、戦後 |
| 31 | 還元主義と多様性 - 戦後、戦後、戦後 |
| 32 | 還元主義と多様性 - 戦後、戦後、戦後 |
| 33 | 還元主義と多様性 - 戦後、戦後、戦後 |
| 34 | 還元主義と多様性 - 戦後、戦後、戦後 |
| 35 | 還元主義と多様性 - 戦後、戦後、戦後 |
| Chapter 5 1980-1984 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 36 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 37 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 38 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 39 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| 40 | 前衛 - 前衛、アヴァンギャルド |
| Chapter 6 1985-1994 | 再現芸術 - 戦後、戦後、戦後 |
| 41 | 再現芸術 - 戦後、戦後、戦後 |
| 42 | 再現芸術 - 戦後、戦後、戦後 |
| 43 | 再現芸術 - 戦後、戦後、戦後 |
| 44 | 再現芸術 - 戦後、戦後、戦後 |
| 45 | 再現芸術 - 戦後、戦後、戦後 |

目次の1番目の見開きです。第1章は第二次大戦が終結した1945年から始まっていて、ほぼ時系列順に書かれています。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性—流儀、エッセイ、ポスト、ハイブリッド</p> <p>Mannerism & Diversity —Art Flux, Esquival, Montage</p> <p>70 流儀と多様性 58 71 流儀と多様性 58 72 流儀と多様性 58 73 流儀と多様性 58 74 流儀と多様性 58 75 流儀と多様性 58</p> <p>Chapter 8 2010-2014 搾取前衛—ポストコロニアルの権威主義と反権威主義</p> <p>Exploitive Avant-Garde —Assessment & Disengagement Before/After/Without</p> <p>80 搾取前衛 68 81 搾取前衛 68 82 搾取前衛 68 83 搾取前衛 68 84 搾取前衛 68</p> <p>流儀と多様性 58 流儀と多様性 58</p>  | <p>本書の読み方：「循環史観」で読み解く現代美術史（序章—編者）</p> <p>Editor's Note - Reading Guide: Seeing the Contemporary Art History in "Historic Recurrence"</p> <p>この本は、現代美術史の歴史を、循環史観で読み解くことを目的として書かれた。この本は、現代美術史の歴史を、循環史観で読み解くことを目的として書かれた。この本は、現代美術史の歴史を、循環史観で読み解くことを目的として書かれた。</p> <p>この本は、現代美術史の歴史を、循環史観で読み解くことを目的として書かれた。この本は、現代美術史の歴史を、循環史観で読み解くことを目的として書かれた。この本は、現代美術史の歴史を、循環史観で読み解くことを目的として書かれた。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="692 531 792 608"> <p>1912-14 1912-14</p> </td> <td data-bbox="796 531 896 608"> <p>1920s 1920s</p> </td> <td data-bbox="901 531 1001 608"> <p>1930-45 1930-45</p> </td> <td data-bbox="1005 531 1105 608"> <p>1945-54 1945-54</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="692 614 792 691"> <p>1955-59 1955-59</p> </td> <td data-bbox="796 614 896 691"> <p>1960-63 1960-63</p> </td> <td data-bbox="901 614 1001 691"> <p>1964-79 1964-79</p> </td> <td data-bbox="1005 614 1105 691"> <p>1980-84 1980-84</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="692 697 792 774"> <p>1985-84 1985-84</p> </td> <td data-bbox="796 697 896 774"> <p>1985-84 1985-84</p> </td> <td data-bbox="901 697 1001 774"> <p>1985-84 1985-84</p> </td> <td data-bbox="1005 697 1105 774"> <p>1985-84 1985-84</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="692 780 792 857"> <p>2010-14 2010-14</p> </td> <td data-bbox="796 780 896 857"> <p>2010-14 2010-14</p> </td> <td data-bbox="901 780 1001 857"> <p>2010-14 2010-14</p> </td> <td data-bbox="1005 780 1105 857"> <p>2010-14 2010-14</p> </td> </tr> </table> | <p>1912-14 1912-14</p> | <p>1920s 1920s</p> | <p>1930-45 1930-45</p> | <p>1945-54 1945-54</p> | <p>1955-59 1955-59</p> | <p>1960-63 1960-63</p> | <p>1964-79 1964-79</p> | <p>1980-84 1980-84</p> | <p>1985-84 1985-84</p> | <p>1985-84 1985-84</p> | <p>1985-84 1985-84</p> | <p>1985-84 1985-84</p> | <p>2010-14 2010-14</p> | <p>2010-14 2010-14</p> | <p>2010-14 2010-14</p> | <p>2010-14 2010-14</p> |
| <p>1912-14 1912-14</p> | <p>1920s 1920s</p> | <p>1930-45 1930-45</p> | <p>1945-54 1945-54</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>1955-59 1955-59</p> | <p>1960-63 1960-63</p> | <p>1964-79 1964-79</p> | <p>1980-84 1980-84</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>1985-84 1985-84</p> | <p>1985-84 1985-84</p> | <p>1985-84 1985-84</p> | <p>1985-84 1985-84</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2010-14 2010-14</p> | <p>2010-14 2010-14</p> | <p>2010-14 2010-14</p> | <p>2010-14 2010-14</p> | | | | | | | | | | | | | | |

目次の2番目の見開きです。最後の第8章はこの本が出された2014年まで書かれています。右側のページは編集部が作成してくれたカラーページで、このカラーの表は、循環史観を表しています。循環史観とは簡単にいえば「歴史は繰り返す」といったようなことなのですが、第1章から第8章までの章の構成はこの循環史観の表に基づいており、それが、本書の二つ目の大きな特徴となっています。こういったことについてはあとでもう一回ご説明します。

文化庁メ芸シンポ

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

2015年2月15日(日)13:00開始

国立新美術館3F講堂

さて今日は、こういった場にシンポジウムでお招きいただいているわけですので、

第1回 国史メディア芸術祭 特別企画イベント
 テーマセッション
想像力の共有地〈コモンズ〉
 2017年2月13日(日) 会場：国立新美術館14階 講堂1→2階

国史メディア芸術祭特別企画の特別企画として、現代美術から大衆文化、マンガ・アニメーション
 芸術から産業化競争まで「現代の文化創成」を捉えるデジタル・メディア・アートを中心とした国際的な
 二「歴史」と「経済」の「対話」をテーマとした特別セッションを開催。現代史・経済史・芸術史
 からの視点から、国史を捉えることのできる新たな視点について、大澤、室井、中澤、大澤、室井、
 大澤、室井の4名が議論を行います。国史を捉えるための新たな視点を探ります。

第1部 13:00-14:30
「美術・歴史・日本一自作を語るための歴史とは」

司会 中澤大智(大澤、室井、大澤、室井)
 大澤 大澤 (自由学舎「1980年代」代表)
 室井 室井 (国史学「国史学」代表)



国史とは何か? 国史とは何か? 日本とは何か? 国史とは何か?
 大澤、室井、大澤、室井の4名が議論を行います。

第2部 15:00-16:30
「メディアの国史(国史)から捉える国史の歴史(国史)」

司会 大澤 (国史学「国史学」代表)
 室井 室井 (国史学「国史学」代表)
 大澤 大澤 (国史学「国史学」代表)
 室井 室井 (国史学「国史学」代表)

国史メディア芸術祭 特別企画
 国史メディア芸術祭 特別企画

想像力の共有地 〈コモンズ〉

美術・歴史・日本一 自作を語るための 歴史とは

チラシを見てちょっと確認したいと思います。「想像力の共有地〈コモンズ〉」という枠組みの中の第1部として、「美術・歴史・日本一自作を語るための歴史とは」というタイトルとなっています。ちなみに出演は上から中ザワ、大澤、室井、(敬称省略)という順番に書かれていますが、写真は真ん中が中ザワ、左が大澤、右が室井、(敬称省略)という順番になっていますね。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」

第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」

会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家自身の視点で現代美術史を執筆した中ザワヒデキ氏の近著『現代美術史日本篇 1945 - 2014』から、その執筆の動機や自身が主張する「循環史観」と、2010年以降の日本の現代美術シーンを紹介する。美術家として活動をしながら「現在の自分の視点で歴史をつくる」という姿勢で果敢に現代美術史の見取り図を描いた中ザワ氏の活動を参照し、グローバル世界において自らを取り巻く歴史や文化にどのように向き合っていくのか、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。

歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつの切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

作家自身の視点で現代美術史を執筆した中ザワヒデキ氏の近著『現代美術史日本篇1945 - 2014』から、その執筆の動機や自身が主張する「循環史観」と、2010年以降の日本の現代美術シーンを紹介する。美術家として活動をしながら「現在の自分の視点で歴史をつくる」という姿勢で果敢に現代美術史の見取り図を描いた中ザワ氏の活動を参照し、グローバル世界において自らを取り巻く歴史や文化にどのように向き合っていくのか、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」

第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」

会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家自身の視点で現代美術史を執筆した中ザワヒデキ氏の近著『現代美術史日本篇 1945 - 2014』から、その執筆の動機や自身が主張する「循環史観」と、2010年以降の日本の現代美術シーンを紹介する。美術家として活動をしながら「現在の自分の視点で歴史をつくる」という姿勢で果敢に現代美術史の見取り図を描いた中ザワ氏の活動を参照し、グローバル世界において自らを取り巻く歴史や文化にどのように向き合っていくのか、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。

歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつの切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつの切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」
第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」
会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家自身の視点で現代美術史を語る『現代美術史日本篇 1945 - 2014』から、その執筆の動機や自身の視点から日本の現代美術シーンを紹介する。美術家として活動をしながら『現代美術史』という姿勢で果敢に現代美術史の見取り図を描いた中ザワ氏の活動において自らを取り巻く歴史や文化にどのように向き合っていくのか、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。

歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつの切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

謝辞

ということですので、ここで、僕から謝辞を述べさせていただきます。まずは主催者の文化庁メディア芸術祭の実行委員会の方が、僕の著書をおもしろがってくださり、そこから問題意識を発展してくださったのだろうということがこのシンポジウムのそもそものきっかけですので、このように拙著を議論の切り口としてくださってありがとうございます！ということがまず一点。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」
第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」
会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家の「現代美術史日本篇 1945 - 2014」
か、日本の現代美術シーンを紹介
す、という姿勢で果敢に現代美術
史の、において自らを取り巻く歴史や文化
にどのよう、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。
歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつ
の切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、
現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

謝辞 謝辞

次に、恐れ多くも拙著を端緒とした議論に、もったいなくも「応答してくださる」という大澤真幸さん、ならびにもったいなくも「モデレーターの労をおとりくださる」という室井尚さんに、感謝申し上げます。ありがとうございます！のちほど宜敷お願いいたします。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」
第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」
会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家の「歴史とは何か？」(2014) 紹介
か 紹介
す 美術
史の 文化
にどのようにつなげられるか、現代社会・美術・教育など幅広い
歴史とは何か？ 美術とは何か？ 日本とは何か？ 現在とは何か？ 中ザワ氏の著書をひとつ
の切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、
現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

謝辞 射舌 謝辞

さらには、この場にお立ち会いいただいております、このように大勢のご来場のかた
がた、みなさまに、大きな謝辞を捧げたいと思います。ありがとうございます！

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

ところでこのタイトルですけれども、少なくとも2つの意味で「ひどい！」と思っております。

美術 歴史 日本
自作を (笑) 史とは

いま、「ひどい！」と言いましたけれども、カッコ(笑い)カッコとじですのでね、慌てていま表示しましたが、その点は誤解なきよう宜しくお願いします。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

で、なにが酷いかというと、ひとつめは

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

美術・なかぐろ・歴史・なかぐろ・日本 というネーミングですね。これは誰しも榎木野衣の1998年の著作『日本・なかぐろ・現代・なかぐろ・美術』を思い出すというか、そのマネに見えると思うんです。まあ、日本の現代美術のことをちょっとでも知ってるようなひとなら誰しもという意味ですが。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

榎木野衣『日本・現代・美術』

ただまあこの二文字熟語を3つ並べてなかぐろを間に2つ入れるというスタイルは、榎木さんの著書以降流行ったというか、一般的になりましたよね。いろんな分野でエピソードを見た気がします。が、今回はほかならぬ榎木さんと同じ日本現代美術史の文脈で、榎木さんにことわりもなくタイトルにしているのが、ちょっとひどいかも(カッコ笑い)と思いました。

しかし逆にいえばわかりやすい。酷いものはたいていわかりやすいんです。たとえばこれを英訳すると

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

ART HISTORY JAPAN

ART HISTORY JAPAN となるんですよね。つまり僕のこのたびの著書の、英語タイトルとまったく同じになるんです。お気づきになりましたでしょうか。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

で、もう一つ、このタイトルでひどいと思うのは、

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

こちらですね。「自作を語るための歴史とは」のところ。これはいろいろな意味で本当に酷い(カッコ笑い)。

ちなみにこれらのタイトルは僕が発案したものではないです。ですが事前のやりとりで、「タイトルも含めてこれでいかがですか？」とメールで聞かれてまして、「問題ありません」と僕は答えてるんですよ。なので発案者を責めているわけでも、誰かを責めているわけでもけしてない。むしろ僕は、自分では絶対つけないだろうようなこのタイトルは、ともかくわかりやすく本質を衝いているとさえ思うのです。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(3) 美術家が書いた美術史書

ここで本書の3番目の大きな特徴の話になりますが、それは、この本が「美術家が書いた美術史書」だということです。僕は美術家であり、美術評論家でも美術史家でもありません。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

- (1) 和英バイリンガル
- (2) 循環史観
- (3) 美術家が書いた美術史書

いちおう先ほど述べたことの復習になりますが、本書の1番目の特徴は和英併記であるということ、2番目の特徴は循環史観でした。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(3) 美術家が書いた美術史書

3番目の特徴の話に戻りますが、普通には歴史は、当事者とは利害関係のないニュートラルな立場から書かれる「べき」ものであり、だからこそ、記述され定立された歴史は大勢からのコンセンサスを得られているという、ある意味普遍性を兼ね備えたものだという暗黙の了解があるわけです。たとえば、「歴史が証明する」みたいな言い回しがありますが、それは、歴史こそが中立で公正なものだということが前提されているわけですね。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

美術家が美術家として美術史を書く..... ×あり得ない!

(3) 美術家が書いた美術史書

なので美術家が美術家として美術史を書くなんてことは普通にはあり得ないわけです。もしあるとしたら、美術家はそのときだけ美術史家あるいは美術評論家となって、すなわち美術家としての自分がまったく出てこない美術史ならば、辛うじてあり得る。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

美術家が、自分が出てこない美術史を書く.....△辛うじてあり得る

(3) 美術家が書いた美術史書

実際ですね、去年の夏になりますがある高名なアーティストがツイッター上で「中ザワさんの美術史にはご自身が出てくる、それっておかしいですよ」「まあ、ご冗談なんじゃないかね」みたいにつぶやかれてバーツとリツイートが広まったことがあります。僕はツイッターであれブログであれネットではせいぜい指摘や独り言やダジャレにとどめて議論には深入りしないことにしているので、反論とかは特にしなかったのですが、ほんとうはこっちにもいろいろな角度から、いろいろ言いたいことがないわけではない。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

表現者としては、自分で自分を挙げられないようではダメ

(3) 美術家が書いた美術史書

たとえばですね、以前イラストレーターの吉田カツさんが「今年最も良かったと思う展覧会を挙げてください」との雑誌アンケートで、真っ先に自分の個展を挙げて、「自分でこう言えるようじゃなくちゃね」と自分でコメントしていたことがあったのですが、まったくその通りだと思うんです。そのような時に自分を挙げられないようならば、ひと様に作品を見せたり売ったりする資格はないと思います。作品を見てくれた人にも買ってくれた人にも申し訳が立たない。学生に戻れってことになります。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

美術家が、自分が出てこない美術史を書く.....むしろダメ

(3) 美術家が書いた美術史書

あるいは、ある重要なイラストレーターが日本のイラストレーション史の編纂に関わって、とても面白くて有意義な本ができあがったのですが、僕から見たその本の不満は、その本にいっさいその書き手の彼の作品が出てこないことなんです。この本でイラストレーションを初めて学ぶ若者がいるかと思うと、いたたまれない気持ちになります。それは彼のために言ってるのではなく、日本のイラストレーション史にとって彼の不在が大きな損失だから。つまり美術に置き換えて言うと、美術家が、自分が出てこない美術史を書くのは、美術史としても、むしろダメなことがあるんじゃないか。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

歴史と作品の一体化

(3) 美術家が書いた美術史書

というのは、その彼の作品が歴史の必然とのリンクのうえでこそ成り立っているからなんですね。話はとびますが、日本の現代音楽でもそういうケースがあります。重鎮の作曲家の松平頼暁さんですが、彼も、現代音楽史の著作のある作曲家なんですね。しかも彼の場合は作風の変遷というのが彼の経歴上に如実に表れ、それがなおかつ現代音楽史の重要な動向とリンクしている。しかもそこでいう音楽史は、偶然の出来事を順番に並べた年表的なものではなく、理論と実作と必然がみつどもえになったストーリーとしての音楽史なのです。つまり歴史と作品は一体化している。もちろん、彼の音楽史の著作には彼自身の作品がたくさん出てきています。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

「私は、私の作品の最良の解説が美術史であるような作品を作っているつもりです。つまり自作品解説として、美術史を書くのです」

(3) 美術家が書いた美術史書

では翻って僕自身の場合はいかがでしょうか。僕自身も作風変遷を繰り返すタイプですが、ある場所にこう書いたことがあります。「私は、私の作品の最良の解説が美術史であるような作品を作っているつもりです。つまり自作品解説として、美術史を書くのです」。ちょっとまわりくどいですが、こういう言い回しであれば、最初に述べた普遍性とリンクする歴史の概念が、個人の創作と切り結ぶことができるわけです。で、ここまですが、僕からできるぎりぎりの言い回しになるわけですね。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

「私は、私の作品の最良の解説が美術史であるような作品を作っているつもりです。つまり自作品解説として、美術史を書くのです」

(3) 美術家が書いた美術史書

ところがさらにこれをつづめるとどうなるか。2文あるうちの前半を捨て去るとすると、後半しか残らなくなる。「自作品解説として、美術史を書く」ということはすなわち、

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

「私は、私の作品の最良の解説が美術史であるような作品を作っているつもりです。つまり自作品解説として、美術史を書くのです」

(3) 美術家が書いた美術史書

「自作を語るための歴史」ということになります。だからこのたびのタイトルは圧倒的に正しい！「よくも本当のことを言いやがったな」というようなことになります。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(3) 美術家が書いた美術史書

つまり先ほどの2文の前半がなくなったことで、普遍性とか必然とか理論とかいったことがすべて抜け落ちてしまう。で、残ったものは、自作をプロパガンダするという目的のためだけに矮小化された歴史であり、あるいは、歴史のふりをした牽強附会な解説がなければとても説得力を持ち得ない自作ということになります。つまり、自分の作品にとっても、大文字の歴史にとっても、二重の意味でこれは酷い言い回しなのです(カッコ笑い)。だけれども酷いがゆえに言い当てているものがあるのではないか。何を？

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

一億人いたら一億人全員が自作を語るための歴史を書く

(3) 美術家が書いた美術史書

歴史とはもともと権威との相関物ですが、民主主義体制に由来する歴史権威の失墜を言い当てているのではないか。

なぜなら民主主義とは、たとえば一億人いたら一億人全員が自作を語るための歴史を書くということだからです。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(2)循環史観

(3)美術家が書いた美術史書

いや、そうではないのではないか、もっと一定の理論があるのではないかというのが実は(2)循環史観であり、

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(1)日英併記

(2)循環史観

(3)美術家が書いた美術史書

あるいは権威の相対化ということをもっともよく表す形式として採用した(1)日英併記のスタイルです。たとえば第二次大戦前に行われた皇紀2600年祭はまさしくキリスト教世界と対峙するためにこそ日本史が創作された一例です。バイリンガルの僕の著書では常に日本史が世界史にさらされるわけですが、これは「現代美術史日本篇」という書名でも意図したことです。ちなみにここでは別の問題設定も立てられます。日本史が世界史にさらされるというベクトルではなく、世界史が日本史にさらされるというベクトルです。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(2)循環史観

というような話はおちほど大澤さんや室井さんとすればよいので、パワポプレゼンとしては、後は急ぎ足で循環史観を概観することにします。



もう一回先ほどの見開きに戻ります。右側のページは編集部が作成してくれた循環史観の表でした。本書の第1章から第8章までの構成は、この循環史観の表に基づいています。僕自身の言葉よりも、編集者の言葉のほうがわかりやすいので、右側9ページの「本書の読み方:「循環史観」で読み解く現代美術史(文責・編集部)」を音読します。

本書の読み方:「循環史観」で読み解く現代美術史(文責・編集部)

現代美術史は、「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを約30年周期で繰り返している

著者の中ザワは、現代美術史を「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを繰り返すといった循環史観でとらえています。「前衛」とは新しい表現を生み出そうとする表現主義的動向、「反芸術」とは表現自体を否定する現実否定的動向、「多様性」とは時代支配的なイズムが後退し、多様なイズムが乱立する、あるいはイズムなき快楽的な作品、マニエリスムの作品が台頭する時代を意味します。

以下の表は中ザワの循環史観によって分類された20世紀の日本現代美術史です。なお、本書は敗戦後(1945年)からスタートしており、循環史観のフェーズでいうと「多様性」の時代の途中から始まっていますが、本書では取り上げていない戦前の「前衛」→「反芸術」を含めると、20世紀に入ってから、このサイクルは3回転しています。

そして2010年以降、4回転目の「前衛」のフェーズに入ったというのが本書の立場です。

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| 1910s 前衛 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro | 1920s 反芸術 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro | 1930-40s 多様性 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro |
| 1955-59 前衛 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro | 1960-63 反芸術 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro | 1945-54 多様性 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro |
| 1980-84 前衛 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro | 1985-94 反芸術 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro | 1964-79 多様性 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro |
| 2010-14 前衛 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro | | 1995-2009 多様性 大塚雪村、岡本太郎 大塚雪村、岡本太郎 Ochiai Shunmura, Okamoto Taro |

現代美術史は、「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを約30年周期で繰り返している

著者の中ザワは、現代美術史を「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを繰り返すといった循環史観でとらえています。「前衛」とは新しい表現を生み出そうとする表現主義的動向、「反芸術」とは表現自体を否定する現実否定的動向、「多様性」とは時代支配的なイズムが後退し、多様なイズムが乱立する、あるいはイズムなき快楽的な作品、マニエリスムの作品が台頭する時代を意味します。

| | | |
|---|--|--|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>前史 A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Huzan Society and Koshitsu-sha</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>前史 B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>前史 C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Japan Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyutai</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | <p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> |

ちょっとここで音読から離れます。この表をよく見てください。

左から右へ、上から下へと時代が進みます。

上の段のピンク→青→緑

次の段のピンク→青→緑

その次の段のピンク→青→緑

一番下のピンク

の順番です。

そしてピンクが前衛、青が反芸術、横長の緑が多様性です。

音読に戻ります。

本書の読み方:「循環史観」で読み解く現代美術史(文責・編集部)

現代美術史は、「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを約30年周期で繰り返している

著者の中ザワは、現代美術史を「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを繰り返すといった循環史観でとらえています。「前衛」とは新しい表現を生み出そうとする表現主義的動向、「反芸術」とは表現自体を否定する現実否定的動向、「多様性」とは時代支配的なイズムが後退し、多様なイズムが乱立する、あるいはイズムなき快楽的な作品、マネエリスムの作品が台頭する時代を意味します。

以下の表は中ザワの循環史観によって分類された20世紀の日本現代美術史です。なお、本書は敗戦後(1945年)からスタートしており、循環史観のフェーズでいうと「多様性」の時代の途中から始まっていますが、本書では取り上げていない戦前の「前衛」→「反芸術」を含めると、20世紀に入ってから、このサイクルは3回転しています。

そして2010年以降、4回転目の「前衛」のフェーズに入ったというのが本書の立場です。

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|---|---|
| 戦前 1910s 大正ロマン・前衛主義 大塚雪村・岡村文子・高橋元太郎 (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) | 戦時 1920s 大正ロマン後継者 大塚雪村・岡村文子・高橋元太郎 (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) | 戦時 1930-40s シュルレアリスム フルダ・フクダ・高橋元太郎 (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) |
| 戦後 1955-59 前衛 大塚雪村・岡村文子・高橋元太郎 Avant-Garde (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) | 戦後 1960-63 反芸術 大塚雪村・岡村文子・高橋元太郎 Anti-art (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) | 戦後 1945-54 シュルレアリスムと多様性 高橋元太郎・高橋元太郎 Surrealism & Diversity (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) |
| 戦後 1980-84 前衛 大塚雪村・岡村文子・高橋元太郎 Avant-Garde (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) | 戦後 1985-94 反芸術 大塚雪村・岡村文子・高橋元太郎 Anti-art (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) | 戦後 1964-79 高橋主義と多様性 高橋元太郎・高橋元太郎 Takahashiism & Diversity (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) |
| 戦後 2010-14 前衛 大塚雪村・岡村文子・高橋元太郎 Avant-Garde (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) | | 戦後 1995-2009 マネエリスムと多様性 高橋元太郎・高橋元太郎・高橋元太郎 Manierism & Diversity (Shigeo Fukuda, Shigeo Fukuda) |

この表は中ザワの循環史観によって分類された20世紀の日本現代美術史です。

なお、本書は敗戦後(1945年)からスタートしており、循環史観のフェーズでいうと「多様性」の時代の途中から始まっていますが、本書では取り上げていない戦前の「前衛」→「反芸術」を含めると、20世紀に入ってから、このイクルは3回転しています。

そして2010年以降、4回転目の「前衛」のフェーズに入ったというのが本書の立場です。

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> | <p>多様性 Diversity</p> | |
| <p>前史 A 1910s History A ヒューザン会と草土社 Huzan Society and Koso-ka</p> | <p>前史 B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>前史 C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> | <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushu-ka, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p> | |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> | |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | | |

この表にもどります。章の構成がこの表に一致しています。すなわち、

| | | |
|---|--|--|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Huzar Society and Koshiji-sha</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Japan Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレシオニズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | <p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> |

第1章
シュルレアリスムと多様性

| | | |
|--|---|--|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Huzan Society and Koshitsu-sha</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具江、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Goto, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | |

第2章
前衛

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> | <p>多様性 Diversity</p> | |
| <p>歴史A 1910s History A ヒューザン会と草土社 Huzar Society and Koso-tsu</p> | <p>歴史B 1920s History B 大正期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> | <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p> | |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> | |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | | |

第3章 反芸術

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> | <p>多様性 Diversity</p> | |
| <p>歴史A 1910s History A ヒューザン社と草土社 Huzar Society and Koso-tsu</p> | <p>歴史B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> | <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 の源、概念派、美井博 Reductionism & Diversity Miyatake, Conceptualism, Miyoshi</p> | |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> | |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | | |

第4章
還元主義と多様性

| | | |
|--|---|--|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Husei Society and Koshitsu-sha</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争前 Surrealism, Proletarian Art, War-Painting</p> <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック前衛 Trans-Avant-Garde New School of Japan Nippon no Gendai Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マネリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | |

第5章
脱前衛

| | | |
|--|---|---|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン社と草土社 Huzar Society and Koshitsu</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争前 Surrealism, Proletarian Art, War Pre-war</p> <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 言語ニューウェーブから東洋シミュレーションシアムへ Simulationism From Language New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マネリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | |

第6章
再現芸術

| | | |
|--|---|--|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Huzar Society and Koso-za</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正前期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphis Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マンガロボップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Manga Pop</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | |

第7章
マニエリスムと多様性

| | | |
|--|---|--|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Huzar Society and Koshitsu-sha</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争前 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphis Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マネリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-garde Expressionism & Anti-expressionism Before and After Fukushima</p> | | |

第8章
搾取前衛

ではこれから大急ぎでどんな作品があるのか、
目次にしたがって見ていきます。

ではこれから大急ぎでどんな作品があるのか、目次にしたがって見ていきます。

Chapter 1
シュルレアリスムと多様性
敗戦後の美術状況
Surrealism & Diversity
The State of the After (Japan in World War 1)

1945-1954

- 1a 画家の戦争責任問題 14
The Question of Artists' War Responsibility
- 1b ゴッホワリア・ピエンナーレへの参加 15
Participating in the Venice Biennale
- 1c 「重い手」、レアリスム論争、岡本太郎 17
"Heavy Hand," Realism Controversy, Taro Okamoto
- 1d ホルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房 19
Reportage, Closed Doors, Shigeo Takiguchi and the Experimental Workshop

Japan in 1945
昭和二十年九月 二日、第二次世界大戦終結。
September 1945. The government declares unconditional surrender to restore the Japanese Constitution.

Chapter 1 1945-1954
シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

- 1a 美術家の戦争責任問題
- 1b ヴェネツィア・ピエンナーレへの参加
- 1c 「重い手」、レアリスム論争、岡本太郎
- 1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

| 前期 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|--|---|
| 歴史 1910s ヒューマンイズムと戦争 Humanism and War Chapter 1955-59 前期 芸術、丸根、アソビとカネ Avant-Garde Art, Maru, Asobi and Kane | 歴史 1920s 大正前期美術家運動 Taisho Movement of the Artists Group Chapter 1960-63 反芸術 芸術、アソビとカネの対峙 Anti-Art Art, Asobi and Kane's Confrontation | 歴史 1930-40s シュルレアリスム、 ゴッホワリア参加、戦争 Surrealism, Goghwaria, War Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of the After (Japan in World War 1) |
| Chapter 1980-84 脱前期 昭和年代のグラフィックと 日本グラフィック賞 Trans-Avant-Garde The Japanese Graphic Award | Chapter 1985-94 再脱芸術 戦後ニューアヴァンギャルド 戦後インディペンデント・アート Re-Avant-Garde Postwar Neo-Avant-Garde Postwar Independent Art | Chapter 1964-79 還元主義と多様性 40年、戦後派、再芸術 Reductionism & Diversity Forty Years, Postwar School, Re-Art |
| Chapter 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術家運動と戦後派 Egrotive Avant-Garde The Movement of the Avant-Garde Artists and Postwar School | | Chapter 1995-2009 マネリスムと多様性 戦い、戦後、ニュー・アヴァンギャルド、アートのトップ Manerism & Diversity The Fight, Postwar, Neo-Avant-Garde, Top of Art |

Chapter 1 1945-1954
シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

(図版なし)

Chapter 1 1945-1954

シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

1a 美術家の戦争責任問題

1b ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加

1c 「重い手」、レアリスム論争、岡本太郎

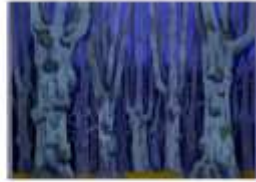
1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity | |
|---|---|---|--|
| 1910s シュルレアリスムと多様性 Pioneer Studies and Practices | 1920s 反芸術 Theater Movement in the Tokyo Region | 1930-40s シュルレアリスム プロレタリア美術、戦争畫 Socialist, Propaganda Art, War Painting | 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術の展開 Postwar Art in Japan Shirane, S. T. Tani, T. Tani, T. Tani |
| 1955-59 前衛 展覧、丸山、アヴァンギャルド Avant-Garde The Avant-Garde in Japan | 1960-63 反芸術 美術「アヴァンギャルド」の再考 Anti-Art The Avant-Garde in Japan | 1964-79 還元主義と多様性 4-09、現代美術、展覧會 Reductionism & Diversity The Avant-Garde in Japan | |
| 1980-84 脱前衛 90年代のアンチ・システムと 日本がアヴァンギャルド Trans-Avant-Garde The Avant-Garde in Japan | 1985-94 再芸術論 戦後アート・マーケット 展覧のコンテクストとシステム Re-art The Avant-Garde in Japan | 1995-2009 マネリスムと多様性 戦後美術、マネリスム・ワット、アートのワット Manerism & Diversity The Avant-Garde in Japan | |
| 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の再考 展覧會と美術 Expansive Avant-Garde The Avant-Garde in Japan | | | |

1a 美術家の戦争責任問題



岡田謙三



東山魁夷

Chapter 1 1945-1954

シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

1a 美術家の戦争責任問題

1b **ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加**

1c 「重い手」、レアリスム論争、岡本太郎

1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| 歴史 1910s ヒュアザレムと超未来 Hyuazaremu and Churyuukai | 歴史 1920s 大正前期前衛美術運動 Taisho Koki Zoku Bunko Eiga Bunpou | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フロシオリアニズム、超未来 Manierism, Frosiorianism, Churyuukai |
| 歴史 1955-59 前衛 展覧、大賞、アワードとメダル Avant-Garde Exh. Award and Medal | 歴史 1960-63 反芸術 展覧、大賞、アワードとメダル Anti-Art Exh. Award and Medal | 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 展覧会と賞状 Surrealism & Diversity Exh. Award and Medal |
| 歴史 1980-84 脱前衛 展覧会と賞状 Trans-Avant-Garde Exh. Award and Medal | 歴史 1985-94 再誕芸術 展覧会と賞状 Revivalism Exh. Award and Medal | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 展覧会、賞状 Reductionism & Diversity Exh. Award and Medal |
| 歴史 2010-14 抑圧前衛 アワード展覧会と賞状 Oppressive Avant-Garde Award Exh. Award and Medal | | 歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 展覧会、アワードとメダル、アワード展覧会 Manierism & Diversity Exh. Award and Medal, Award Exh. Award and Medal |

1b ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加



岡本太郎



鶴岡政男



阿部展也

Chapter 1 1945-1954

シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

1a 美術家の戦争責任問題

1b ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加

1c 「重い手」、リアリズム論争、岡本太郎

1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity | |
|--|---|---|---|
| 歴史 1910s ヒューザワシロと草土吐 Husewa Shiro and Kusatsubo | 歴史 1920s 大正前期美術家運動 Taisho Period Movement of the Artists Group | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フォルピニズム、戦時畫 Mannerism, Futurism, War Painting Tachibana, Fujiwara, Maeda, Yamamoto | 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 Surrealism and Diversity Murakami, Murakami, Murakami, Murakami |
| 1955-59 前衛 展覧、大塚、アソビとアソビ Avant-Garde Exhibition, Otsuka, Asobi and Asobi | 1960-63 反芸術 展覧、アソビとアソビ、アソビとアソビ Anti-Art Exhibition, Asobi and Asobi, Asobi and Asobi | 1964-79 還元主義と多様性 展覧、展覧、展覧 Reductionism & Diversity Exhibition, Exhibition, Exhibition | |
| 1980-84 脱前衛 展覧、展覧、展覧、展覧 Trans-Avant-Garde Exhibition, Exhibition, Exhibition, Exhibition | 1985-94 再芸術論 展覧、展覧、展覧、展覧 Re-Artism Exhibition, Exhibition, Exhibition, Exhibition | 1995-2009 マニエリスムと多様性 展覧、展覧、展覧、展覧 Mannerism & Diversity Exhibition, Exhibition, Exhibition, Exhibition | |
| 2010-14 抑圧前衛 アソビとアソビ、展覧、展覧 Oppressive Avant-Garde Asobi and Asobi, Exhibition, Exhibition | | | |

1c 「重い手」、リアリズム論争、岡本太郎



池田龍雄



利根山光人



桂ゆき



藤松博



芥川沙織



北代省三



石井茂雄



山口長男



瑛九



山口勝弘

Chapter 1 1945-1954

シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

1a 美術家の戦争責任問題

1b ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加

1c 「重い手」、リアリズム論争、岡本太郎

1d **ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房**

| | | |
|---|---|---|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1910s シュルレアリスムと多様性 Pictorial, Symbolic, and Abstract</p> <p>1955-59 前衛 展覧、丸山、7人のアーティスト Avant-Garde The Avant-Garde in Japan</p> <p>1980-84 脱前衛 1980年代のシュルレアリスムと多様性 Trans-Avant-Garde The Avant-Garde in Japan</p> <p>2010-14 押取前衛 アヴァンギャルドの再評価と多様性 Evasive Avant-Garde The Avant-Garde in Japan</p> | <p>反芸術 Anti-art</p> <p>1920s 本誌掲載作家の活動 The Avant-Garde in Japan</p> <p>1960-63 反芸術 本誌「アヴァンギャルド」の中心 Anti-Art The Avant-Garde in Japan</p> <p>1985-94 再脱芸術 戦後シュルレアリスムと多様性 Surrealism The Avant-Garde in Japan</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>1930-40s シュルレアリスム 7人のアーティスト、展覧 Surrealism The Avant-Garde in Japan</p> <p>1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術の状況 Surrealism & Diversity The Avant-Garde in Japan</p> <p>1964-79 還元主義と多様性 4-09、展覧会、展覧 Reductionism & Diversity The Avant-Garde in Japan</p> <p>1995-2009 マネエリスムと多様性 戦後美術、シュルレアリスム、アヴァンギャルド Modernism & Diversity The Avant-Garde in Japan</p> |
|---|---|---|

1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

Chapter 2
前衛
具体、九州派、アンフォルメル
Avant-Garde
(Gaku, Kyushu-ha, An Informel)

2a 具体 14
Gutai

2b 九州派 26
Kyushu-ha

2c 前衛と地方性
Avant-Garde and locality 28

2d アンフォルメルと国際性
Art Informel and Internationalism 33

2e アンフォルメルと東洋
Art Informel and the East 33

Japan in 1955
1955年11月 開催 1956年 発行
January 1955 Publication of the Central Board

Chapter 2 1955-1959
前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体
2b 九州派
2c 前衛と地方性
2d アンフォルメル旋風
2e アンフォルメルと東洋

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|---|---|
| <p>Chapter 1 1910s 具体の出現と草創期 Emergence and Pioneering</p> <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体の出現、アンフォルメル Art Informel</p> <p>Chapter 3 1980-84 脱前衛 1980年代のアンフォルメルと 日本がアート界へ Trans-Avant-Garde The Japanese Turn</p> <p>Chapter 4 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの表現主義と 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde Expressionism of the Avant-Garde and Anti-Art Movement</p> | <p>Chapter 1 1920s 大正前期の反芸術運動 The Early Movement in the Tokyo Region</p> <p>Chapter 2 1960-63 反芸術 具体 / アヴァンギャルド / アート・センター Anti-Art The 1960s Avant-Garde Movement</p> <p>Chapter 3 1985-94 再誕芸術 構造主義 / アヴァンギャルド 構造主義 / シンクレティックな Surrealism The Post-Modern Era</p> | <p>Chapter 1 1930-40s シュルレアリスム 浮世草子 / 浮世草子 / 浮世草子 Surrealism / Ukiyokuzō / Ukiyokuzō</p> <p>Chapter 2 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後派の表現主義 Surrealism & Diversity The Post-war Era of the Avant-Garde</p> <p>Chapter 3 1964-79 還元主義と多様性 4-09 / 還元主義 / 還元主義 Reductionism & Diversity Formalism, Conceptualism, Fluxus</p> <p>Chapter 4 1995-2009 マネエリスムと多様性 戦後派 / エル・グレイ / アート・センター Modernism & Diversity The Post-war Era of the Avant-Garde</p> |

Chapter 2 1955-1959
前衛—具体、九州派、アンフォルメル



嶋本昭三



金山明



村上三郎

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体

2b 九州派

2c 前衛と地方性

2d アンフォルメル旋風

2e アンフォルメルと東洋

田中敦子



白髪一雄

元永定正



| 前衛 Avant-garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|--|--|
| 歴史 1910s ヒューマン主義と啓蒙主義 Humanism and Enlightenment | 歴史 1920s 大正開港期美術運動 Taisho Movement in Art (Taisho Period) | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フォルムリズム、 抽象主義、 具体派 Mannerism, Formalism, Abstractism, Concrete |
| Chapter 1955-59 前衛 具体、具体派、アンフォルメル、 Anti-Form | Chapter 1960-63 反芸術 具体、具体派、アンフォルメル、 Anti-Form | Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 具体派の発展と変遷 Surrealism & Diversity The Rise of the Concrete Group in World War II |
| Chapter 1980-84 脱前衛 80年代のポストモダニズムと 日本がポストモダニズム Post-Modernism Trans-Avant-Garde The Post-Modernist Era | Chapter 1985-94 再興芸術 具体派の再興とポストモダニズム 具体派の再興とポストモダニズム Revivalism The Revival of the Concrete Group | Chapter 1964-79 還元主義と多様性 具体派、 具体派 Reductionism & Diversity The Concrete Group's Approach to Diversity |
| Chapter 2010-14 抑圧前衛 アラビアの抑圧前衛主義 抑圧前衛主義 | | Chapter 1995-2009 マニエリスムと多様性 具体派、 具体派、 Mannerism & Diversity The Concrete Group's Approach to Diversity |
| Expressive Avant-Garde The Expression of Individuality and Creativity Artistic Freedom and Innovation | | |

2a 具体



菊畑茂久馬

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体

2b 九州派

2c 前衛と地方性

2d アンフォルメル旋風

2e アンフォルメルと東洋

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity | |
|--|---|---|--|
| 歴史 1910s ヒュアザイムと具体派 Hyuzaism and Concrete | 歴史 1920s 大正前期具体派運動 Taisho Period Concrete Movement | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フォルシエラ主義、具体派 Mannerism, Formalism, Concrete 杉本茂雄, 阿部浩二, 菊畑茂久馬 Sugi no Mochio, Abe Hiroshi, Kikuchi Shigeo | 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 具体派の発展期 Surrealism & Diversity The Peak of Concrete Movement in World War II |
| 歴史 1955-59 前衛 具体, 具体派, アンフォルメル Concrete, Concrete Movement, Anformel | 歴史 1960-63 反芸術 具体 アナハイム・トリートメント Concrete Anaheim Treatment 阿部浩二, 菊畑茂久馬 Abe Hiroshi, Kikuchi Shigeo | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 4-09, 還元主義, 具体派 Reductionism & Diversity 4-09, Reductionism, Concrete Movement | 歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 具体派, エル・グラーフ, アナハイム・トリートメント Concrete Movement, El Graf, Anaheim Treatment |
| 歴史 1980-84 脱前衛 80年代のアンフォルメルと 日本がアフター Trans-Avant-Garde 菊畑茂久馬 Kikuchi Shigeo | 歴史 1985-94 再芸術 具体のニュー・アヴァンギャルド 具体のニュー・アヴァンギャルド Concrete's Neo-Avant-Garde 菊畑茂久馬 Kikuchi Shigeo | | |
| 歴史 2010-14 抑圧前衛 アナハイム・トリートメントと 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde Anaheim Treatment and Anti-art Movement | | | |

2b 九州派

(図版なし)

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体

2b 九州派

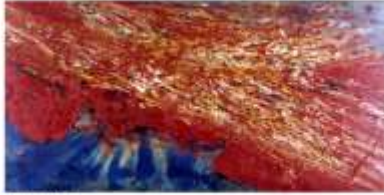
2c 前衛と地方性

2d アンフォルメル旋風

2e アンフォルメルと東洋

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity | |
|--|--|---|--|
| Timeline 1910s シュヴァンゲンと具体 Schwitters, Concrete | Timeline 1920s 大正前期具体派運動 Taisho Period Concrete Movement | Timeline 1930-40s マルセル・アリスム、 フジシタツカサ、豊田道 Marcel Aymonier, Fujishita Tsukasa, Toyama Michiaki | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超戦後の表現状況 Surrealism & Diversity Post-war Expression |
| Timeline 1955-59 前衛 具体、具体派、アンフォルメル Concrete, Concrete Group, Informel | Timeline 1960-63 反芸術 具体、アタクシスト・アート・センター Concrete, Atakushi-to Art Center | Timeline 1964-79 還元主義と多様性 6-49、還元主義、具体派 Reductionism & Diversity 6-49, Reductionism, Concrete Group | |
| Timeline 1980-84 脱前衛 80年代のアンフォルメルと 日本のアフォーリズム Trans-Avant-Garde 1980s Informel and Japanese Aforism | Timeline 1985-94 再現芸術 模倣、ニューアフォーリズム 模倣のニューアフォーリズムへ Simulation New Aforism to Simulation | Timeline 1995-2009 マネエリスムと多様性 模倣、マネエリスム、アフォーリズム Mimesis & Diversity Simulation, Mimeticism, Aforism | |
| Timeline 2010-14 抑圧前衛 アフォーリズムの表現と 具体派の再興 Oppressive Avant-Garde Aforism Expression and Concrete Revival | | | |

2c 前衛と地方性



今井俊満

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

- 2a 具体
- 2b 九州派
- 2c 前衛と地方性
- 2d アンフォルメル旋風
- 2e アンフォルメルと東洋

| 前衛 Avant-garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|---|--|
| Timeline 1910s ヒューザン画会と具体 Huzar Society and Concrete | Timeline 1920s 大正画壇の具体派運動 Taisho Movement of the Concrete School | Timeline 1930-40s マニエリスム、 フォルシエリanism、具体派 Mannerism, Formalism, Concrete School |
| Timeline 1955-59 前衛 具体、具体派、アンフォルメル Concrete, Concrete School, Informel | Timeline 1960-63 反芸術 具体、具体派、アンフォルメル Concrete, Concrete School, Informel | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 具体派の多様性 Surrealism & Diversity Diversity of Concrete School |
| Timeline 1980-84 脱前衛 80年代のアンフォルメルと 日本がアフター Post-avant-garde Japanese Informel | Timeline 1985-94 再誕芸術 具体、具体派、アンフォルメル 具体派の再誕 Concrete, Concrete School, Informel Rebirth of Concrete School | Timeline 1964-79 還元主義と多様性 具体派、具体派 Reductionism & Diversity Concrete School, Concrete School |
| Timeline 2010-14 抑圧前衛 アフター具体派の抑圧と具体 具体派の再誕 Oppressive Avant-garde After Concrete School's Oppression & Concrete School's Rebirth | | Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 具体派、具体派、アンフォルメル Mannerism & Diversity Concrete School, Concrete School, Informel |

2d アンフォルメル旋風



吉原治良



比田井南谷



不動茂弥

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体

2b 九州派

2c 前衛と地方性

2d アンフォルメル旋風

2e アンフォルメルと東洋

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|--|---|
| 歴史 1910s ヒューザン・ガード Human Guard / Vanguard | 歴史 1920s 大正前衛派反芸術 Taisho Avant-Garde Anti-Art | 歴史 1930-40s マニエリスム Manierism / Surrealism フレッシュ・アヴァンギャルド Fresh Avant-Garde |
| Chapter 1955-59 前衛 Avant-Garde / Anti-Art | Chapter 1960-63 反芸術 Anti-Art | Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 Surrealism & Diversity |
| Chapter 1980-84 脱前衛 Trans-Avant-Garde | Chapter 1985-94 再現芸術 Simulacrum | Chapter 1964-79 還元主義と多様性 Reductionism & Diversity |
| Chapter 2010-14 抑圧前衛 Oppressive Avant-Garde | | Chapter 1995-2009 マニエリスムと多様性 Manierism & Diversity |

2e アンフォルメルと東洋



Chapter 3 1960-1963
反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター



篠原有司男

三木富雄



荒川修作



吉村益信

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデバンダン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|---|--|
| Chapter 1 1910s ヒュアザン・シュルレアリスム Hyuazan Surrealism and Dadaism | Chapter 2 1920s 本誌開創期美術運動 Honshi Kaikaku Kioku Bijutsu Undō | Chapter 3 1930-40s マニエリスム、プロレタリア美術、戦時美術 Manierism, Proletarian Art, War Art |
| Chapter 4 1955-59 前衛 展覧、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde Exh. Exhibition, Public, Avant-Garde | Chapter 5 1960-63 反芸術 本誌、ハイレッド・センター Honshi, Red Center | Chapter 6 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術運動期 Surrealism & Diversity Postwar Art Movement |
| Chapter 7 1980-84 脱前衛 80年代のアンデバンダン展と日本がポップ・アート展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde Exhibition, Japan's Pop Art Exhibition | Chapter 8 1985-94 再誕芸術 戦後ニュー・アヴァンギャルド、戦後プロレタリア・ダダイズムへ Renaissance Art Postwar Neo-Avant-Garde, Postwar Proletarian Dadaism | Chapter 9 1964-79 還元主義と多様性 6406、現代美術、日本美術 Reductionism & Diversity 6406, Contemporary Art, Japanese Art |
| Chapter 10 2010-14 押取前衛 アヴァンギャルド美術の再興と戦後美術 Expressive Avant-Garde Revival of Avant-Garde Art and Postwar Art | | Chapter 11 1995-2009 マニエリスムと多様性 戦後美術、ニュー・アヴァンギャルド、アートのポップ Manierism & Diversity Postwar Art, Neo-Avant-Garde, Pop Art |

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ



小島信明

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデパンダン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|---|---|
| <p>Timeline 1910s ヒュウザインフルクサシズム Huyusai Influx and Fluxism</p> | <p>Timeline 1920s 大正前期美術革新運動 Taisho Period Art Innovation Movement</p> | <p>Timeline 1930-40s マルクス主義、プロレタリア美術、戦時義勇 Marxism, Proletarian Art, Wartime Patriotism</p> |
| <p>Timeline 1955-59 前衛 展覧、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibitions, Masses, Avant-Garde</p> | <p>Timeline 1960-63 反芸術 展覧、ハイレッド・センター Anti-art Exhibitions, Haired-Center</p> | <p>Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術復興社会 Surrealism & Diversity Postwar Art Revival Society</p> |
| <p>Timeline 1980-84 脱前衛 80年代のアンチ・システムと 日本がデフォックナ Trans-Avant-Garde 80s Anti-System and Japan as Defocus</p> | <p>Timeline 1985-94 再脱芸術 戦後ニュー・アヴァンギャルド 展覧とインター・メディアリズムへ Re-avant-garde Postwar Neo-Avant-Garde Exhibitions and Inter-Media Rhythm</p> | <p>Timeline 1964-79 還元主義と多様性 6-400、現代美術、異文化 Reductionism & Diversity 6-400, Contemporary Art, Cross-Culture</p> |
| <p>Timeline 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の復興と戦後 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde Revival of Avant-Garde Art and Postwar Anti-artism</p> | | <p>Timeline 1995-2009 マネリスムと多様性 戦後美術、ニュー・アヴァンギャルド、メディアはポップ Manerism & Diversity Postwar Art, Neo-Avant-Garde, Media is Pop</p> |

3b 読売アンデパンダン展の廃止



中西夏之



高松次郎



福岡道雄

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデパンダン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|--|---|
| <p>歴史 1910s ヒュウザイ会と独立社 Hyuzaikai and Tokuzaisha</p> | <p>歴史 1920s 大正美術青年会運動 Taisho Museum-in-the-Making Movement</p> | <p>歴史 1930-40s マルセル・ブリアール マシロウ・ブリアール、豊田道 Masuro Maruyama, Shigenobu Takahashi, Akemiyo Aki Shigeo Fukuda</p> |
| <p>Chapter 1955-59 前衛 展覧、丸山、アソビとカネ Avant-Garde Exhibitions, Maruyama, Asobi and Kane</p> | <p>Chapter 1960-63 反芸術 ハイレッド・センター Anti-art High Red Center</p> | <p>Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超戦後の表現状況 Surrealism & Diversity The State of Postwar Expression</p> |
| <p>Chapter 1980-84 脱前衛 90年代のアンチ・システムと 日本がデ・フォルマーション Trans-Avant-Garde The 1990s and Deformation in Japan</p> | <p>Chapter 1985-94 再脱芸術 構造主義—アソビ—アソビ 構造主義—アソビ—アソビ Sinegalicism Post-Structuralism</p> | <p>Chapter 1964-79 還元主義と多様性 4-09、渡辺光、高木隆 Reductionism & Diversity Hara, Yamashita, Takahashi</p> |
| <p>Chapter 2010-14 抑圧前衛 アソビが表現の場を再定義 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde The Performance of Postwar Expression Artists & Artists' Association</p> | | <p>Chapter 1995-2009 マネジリスムと多様性 横山、コト、フクダ、アソビはポップ Manerism & Diversity Yokoyama, Koto, Fukuda, Maruyama</p> |

3c ハイレッド・センター



中村宏



清水晃



多田美波



横尾忠則



亀倉雄策



草間彌生



篠田守男



吉仲太造



池田満寿夫



野田哲也



磯辺行久



立石大河亞



谷川晃一



村上善男

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデパンダン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|--|--|
| 1910s ヒューマン主義と啓蒙 Humanism and Enlightenment | 1920s 大正開港博覧会 Great Exhibition of the South Seas | 1930-40s マニエリスム マニエリスム展覧会、展覧場 Mannerism Exhibition, Exhibition Space |
| 1955-59 前衛 展覧、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibition, Audience, Avant-Garde | 1960-63 反芸術 展覧、大衆、ハイレッド・センター Anti-art Exhibition, Audience, Red Center | 1945-54 シュルレアリスムと多様性 展覧場と展覧会 Surrealism & Diversity Exhibition Space and Exhibition |
| 1980-84 脱前衛 展覧、大衆、アヴァンギャルド Trans-Avant-Garde Exhibition, Audience, Avant-Garde | 1985-94 再芸術 展覧、大衆、アヴァンギャルド 展覧場と展覧会 Re-art Exhibition, Audience, Avant-Garde Exhibition Space and Exhibition | 1964-79 還元主義と多様性 展覧場、展覧会、展覧場 Reductionism & Diversity Exhibition Space, Exhibition, Exhibition Space |
| 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド展覧会と展覧場 Oppressive Avant-Garde Avant-Garde Exhibition and Exhibition Space | | 1995-2009 マニエリスムと多様性 展覧場、エッセイ・ブック、アートのポップ Mannerism & Diversity Exhibition Space, Essay Book, Art's Pop |

3d 日本のポップ・アート

(図版なし)

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデバン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|--|--|
| 歴史 1910s ヒュアザン・グループ Hyozaan Group and others | 歴史 1920s 大正美術展覧会運動 Taisho Museum Exhibition Movement | 歴史 1930-40s マルティン・グリム プロシヤの芸術家、作家連 Martin Grimmer, Artists, Writers 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超戦後の表現形式 Surrealism & Diversity The State of Knowledge Between 1945 and 1954 |
| 歴史 1955-59 前衛 展覧、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibitions, Public, Avant-Garde | 歴史 1960-63 反芸術 ハイレッド・センター Anti-art Haileddo Center | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 64年、現代性、異文化 Reductionism & Diversity 1964, Modernity, Diversity |
| 歴史 1980-84 脱前衛 80年代のアンチ・システムと 日本がアヴァンギャルド展 Trans-Avant-Garde The Anti-System of the 1980s | 歴史 1985-94 再脱芸術 構造主義・ポスト・モダン 脱芸術・インターメディアリズム Re-art Structuralism, Post-Modern, Anti-art, Intermedia | 歴史 1995-2009 マネリスムと多様性 異文化、ユーロ・ポスト・モダン、アジアのポップ Manerism & Diversity The Post-Modern, Diversity |
| 歴史 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの表現形式 表現形式 Oppressive Avant-Garde The State of Knowledge Between 2010 and 2014 | | |

3e ゼロ次元

Chapter 4

還元主義と多様性
もの派、概念派、美共闘

Reductionism & Diversity
(Mono-ha, Conceptualism, MiKyū)

- 4a 日本概念派 (1) オブジェを消せ 12
Japanese Conceptualist (1) Get rid of Objects
- 4b 日本概念派 (2) トリック・オブ・ヴィジョン 14
Japanese Conceptualist (2) Trick and Vision
- 4c もの派 16
Mono-ha
- 4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派 68
MiKyū, Post-Conceptualist, Post-Mono-ha
- 4e 絵画回帰 64
Return to Painting

Japan in 1964
1964年10月1日 公開。国立近代美術館。
Copyright © 2014 The National Museum of Modern Art, Tokyo

Chapter 4 1964-1979
還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

- 4a 日本概念派(1)オブジェを消せ
- 4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン
- 4c もの派
- 4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派
- 4e 絵画回帰

| 前期 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity | |
|---|--|---|--|
| 1910s ヒューマン中心主義 <small>Human Centered and Humanist</small> | 1920s 本質論的表現主義 <small>Essentialist Expressionist and Formalist</small> | 1930-40s シュルレアリスム フロイトの学説、精神論 <small>Surrealism, Freud's Theory, Psychoanalysis</small> | 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後派の表現主義 <small>Surrealism & Diversity Post-war Expressionist</small> |
| 1955-59 前期 具体、具体派、アソシエーション <small>Avant-Garde Concrete, Concrete Group, Association</small> | 1960-63 反芸術 具体、具体派、アソシエーション <small>Anti-Art Concrete, Concrete Group, Association</small> | 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 <small>Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualism, MiKyū</small> | |
| 1980-84 脱前期 80年代アヴァンギャルドと 日本アヴァンギャルド派 <small>Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Japanese Avant-Garde</small> | 1985-94 再現芸術 構造主義・ポストモダン 構造主義・ポストモダン <small>Simulation Structuralism, Postmodernism, Postmodernism</small> | 1995-2009 マネジリスムと多様性 戦い、戦後、ニュー・ワット、アートのトップ <small>Manerism & Diversity War, Post-war, New Wave, Top of Art</small> | |
| 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド表現主義 反芸術主義 <small>Explosive Avant-Garde Avant-garde Expressionism, Anti-artism</small> | | | |

Chapter 4 1964-1979
還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘



松澤岩

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c もの派

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

| 前期 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| <p>Timeline 1910s シュヴァンナー派と草土社 Group Schwanner and Kutsunaka</p> | <p>Timeline 1920s 大正前期具体派運動 Shohei Movement in the Tokyo Region</p> | <p>Timeline 1930-40s マルセル・ブリアール、 フビレ・ド・ラ・グロワ、豊田道 Marcel Brödeur, Fubire de la Grota, Toyama Michi</p> |
| <p>Timeline 1955-59 前衛 具体、光畑、アソビとカネムル Avant-Garde Group Brödeur, Asahi and Kanemura</p> | <p>Timeline 1960-63 反芸術 具体、アソビとカネムル Anti-Art Group Brödeur, Asahi and Kanemura</p> | <p>Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 具体派の発展と変遷 Surrealism & Diversity Development and Change of Concrete Group</p> |
| <p>Timeline 1980-84 脱前衛 80年代コンセプチュアルアート 日本がアフォーラ Trans-Avant-Garde The Japanese Avant-Garde</p> | <p>Timeline 1985-94 再概念派 概念アート・アフォーラ 概念派のコンクリート・グループへ Reconceptualism From Conceptual Art to Concrete Group</p> | <p>Timeline 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Group Mono-ha, Conceptualism, Beauty Struggle</p> |
| <p>Timeline 2010-14 抑圧前衛 アフォーラ派の発展と変遷 反芸術回帰 Oppressive Avant-Garde Development of Japanese Avant-Garde Anti-art Return</p> | | <p>Timeline 1995-2009 マネリスムと多様性 具体派、ニュー・コンセプチュアル、アフォーラ回帰 Modernism & Diversity Group Concrete, Neo-Conceptual, Avant-Garde Return</p> |

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ



柏原えつとむ



河口龍夫

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c もの派

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| <p>Chapter 1 1910s ヒューザン協会と東京派 Huzar Association and Tokyo School</p> | <p>Chapter 2 1920s 本立美術倶楽部派運動 Honchō Bijutsu Kurabu no Undō</p> | <p>Chapter 3 1930-40s マルセル・ブリアール マドリダ・アソシエーション、東京派 Marcel Brönoir Madrid Association, Tokyo School</p> |
| <p>Chapter 4 1955-59 前衛 芸術、文化、アソシエーション Avant-Garde Art, Culture, Association</p> | <p>Chapter 5 1960-63 反芸術 美術、アート、パフォーマンスセンター Anti-Art Art, Performance Center</p> | <p>Chapter 6 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超現実主義運動協会 Surrealism & Diversity Supernaturalism Movement Association</p> |
| <p>Chapter 7 1980-84 脱前衛 80年代のインターナショナルと日本 Trans-Avant-Garde 80s International and Japan</p> | <p>Chapter 8 1985-94 再概念派 概念アート、パフォーマンス Neo-Conceptualism Conceptual Art, Performance</p> | <p>Chapter 9 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualism, Beauty Struggle</p> |
| <p>Chapter 10 2010-14 抑圧前衛 アウェアな前衛の表現と教育 Eggressive Avant-Garde Aware Avant-Garde Expression and Education</p> | | <p>Chapter 11 1995-2009 マネジリスムと多様性 現代美術、ニュー・ワット、アートのトップ Managerism & Diversity Contemporary Art, New Wave, Top of Art</p> |

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン



関根伸夫



李禹煥



榎倉康二



齋藤義重



小清水漸



菅木志雄



高山登

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c **もの派**

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|---|--|
| Timeline 1910s ヒュアザン・シュタイン Elie Lissitzky and others | Timeline 1920s 本誌『美術新報』の発刊 Marcel Duchamp and others | Timeline 1930-40s マックス・エルリスム、 フロレンス・ホフマン、 ヘルムット・フランク、 ヘルムット・オットー、 ヘルムット・グンター、 ヘルムット・ペーター、 ヘルムット・ツェンケ |
| Timeline 1955-59 前衛 美術、文化、70年代の日本 Avant-Garde (The Japanese Avant-Garde) | Timeline 1960-63 反芸術 美術、文化、70年代の日本 Anti-Art (The Japanese Anti-Art) | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 美術、文化、70年代の日本 Surrealism & Diversity (The Japanese Surrealism & Diversity) |
| Timeline 1980-84 脱前衛 美術、文化、70年代の日本 Trans-Avant-Garde (The Japanese Trans-Avant-Garde) | Timeline 1985-94 再概念派 美術、文化、70年代の日本 Neo-Conceptualism (The Japanese Neo-Conceptualism) | Timeline 1964-79 還元主義と多様性 美術、文化、70年代の日本 Reductionism & Diversity (The Japanese Reductionism & Diversity) |
| Timeline 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの再評価 (The Japanese Avant-Garde) | | Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 美術、文化、70年代の日本 Mannerism & Diversity (The Japanese Mannerism & Diversity) |

4c もの派



彦坂尚嘉



堀浩哉



戸谷成雄



若林壱



村岡三郎



遠藤利克



嶋剛



三島喜美代



伊藤公象

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c もの派

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

| 前期 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|---|---|
| Timeline 1910s ヒュアザン・シュルレアリスム Hyuazan Surrealism and Dadaism | Timeline 1920s 本主義的表現主義運動 Nationalist Movement in the Tokyo Region | Timeline 1930-40s マニエリスム、 フロシチア主義、 美共闘 Mannerism, Futurism, etc. |
| Timeline 1955-59 前衛 具体、 光畑、 アニマルモード Avant-Garde Concrete, Mitsumasa, Animal Mode | Timeline 1960-63 反芸術 具体、 アダム・ハイトラフ・センター Anti-Art Concrete, Adam, Heitraf, Center | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 具体派の表現主義 Surrealism & Diversity Concrete School's Expressionism |
| Timeline 1980-84 脱前衛 80年代のポストモダニズムと 日本がポストモダニズム Trans-Avant-Garde Post-Modernism in Japan | Timeline 1985-94 再現芸術 構造主義・ニュー・アヴァンギャルド 歴史の再考・ポストモダニズムへ Simulacrum Post-Modernism | Timeline 1964-79 還元主義と多様性 もの派、 概念派、 美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualism, etc. |
| Timeline 2010-14 抑取前衛 アヴァンギャルドの表現主義 反芸術主義 Expressive Avant-Garde Expressionism, Anti-Art | | Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 具体派、 コーヒー・ブラック、 アイトロップ Mannerism & Diversity Concrete School, Coffee Black, Aitrop |

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派



宇佐美圭司



上田薫



辰野登恵子



山田正亮



諏訪直樹

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c もの派

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|--|--|
| 歴史 1910s ヒュアザレムとダダ <small>French Dadaism and Surrealism</small> | 歴史 1920s 本主義的表現主義 <small>Expressionism in the German Empire</small> | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フォトリズム、構成主義 <small>Constructivism, De Stijl, Bauhaus, etc.</small> |
| 歴史 1945-54 戦後 <small>Post-war</small> | 歴史 1955-59 前衛 <small>Avant-Garde</small> | 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small> |
| 歴史 1960-63 反芸術 <small>Anti-Art</small> | 歴史 1960-63 反芸術 <small>Anti-Art</small> | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 <small>Reductionism & Diversity</small> |
| 歴史 1980-84 脱前衛 <small>Trans-Avant-Garde</small> | 歴史 1985-94 再現芸術 <small>Simulation</small> | 歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>Mannerism & Diversity</small> |
| 歴史 2010-14 抑圧前衛 <small>Repressive Avant-Garde</small> | | |

4e 絵画回帰

Chapter 5
脱前衛
80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展
Trans-Avant-Garde
80s Avant-Garde and Nippon-Graphics Exhibition

1980-1984

2a 日本のポストモダニズム: 内部と外部
Postmodernism in Japan: Inside and Outside 68

2b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義
Inside: 80s Avant-Garde and Neo-Expressionism 77

2c 外部: ヘタウまと日本グラフィック展
Outside: Heta-Uma and Nippon-Graphics Exhibition 78

2d ポストモダニズムと循環史観
Postmodernism and Historical Cycle 79

Japan in 1988
80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展
December 1982 The 1st Nippon-Graphics Exhibition

Chapter 5 1980-1984
脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部
5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義
5c 外部: ヘタウまと日本グラフィック展
5d ポストモダニズムと循環史観

| 前衛 Avant-Garde | 反前衛 Anti-Avant | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| 歴史 1910s ヒューザン画工専修校 Huzar School of Design | 歴史 1920s 本立美術学校美術科 Motohata School of Art | 歴史 1930-40s マルセル・ブリアール ブリアールが創設、豊田隆 Marcel Brönoir, Akira Yamamoto, Takashi Murakami |
| 歴史 1955-59 前衛 豊田、丸岡、アノ・アノ・メル Avant-Garde Abeno, Maruoka, Anno-Ano-Maru | 歴史 1960-63 反前衛 森田、アサノハ、イトナ、センシキ Anti-Art Mori, Asano, Itona, Senshiki | 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術運動協会 Surrealism & Diversity The Association of Postwar Art Movement |
| 歴史 1964-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon-Graphics Exhibition | 歴史 1985-94 再脱前衛 横倉、ニュー・アーツ・フォーラム 東京、パブリック・アート・センター Surrealism Yokoyama, New Arts Forum, Tokyo, Public Art Center | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 4-09、現代美術、日本美術 Reductionism & Diversity 4-09, Contemporary Art, Japanese Art |
| 歴史 2010-14 押取前衛 アヴァンギャルド表現主義展 Abeno & Senhiki Exhibition | | 歴史 1995-2009 マネエリスムと多様性 現代美術、ニュー・アーツ・フォーラム、アイトナセンター Modernism & Diversity Contemporary Art, New Arts Forum, Aitona Center |

Chapter 5 1980-1984
脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

(図版なし)

Chapter 5 1980-1984

脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

5d ポストモダニズムと循環史観

| 前衛 Avant-Garde | 反前衛 Anti-Avant | 多様性 Diversity | |
|---|---|---|---|
| 歴史 1910s シュヴァンソンと草土社 Pencil, Schwab, and Tsubouchi | 歴史 1920s 大正前期美術家運動 Shōwa Nenpō and the Tokyo Group | 歴史 1930-40s マルセル・アリスム、 プロレタリア美術、戦時畫 Marcel Aymonier, Aki Kobayashi, Akemiwa, Aki Kobayashi | 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術運動社会 Surrealism & Diversity The Road to Knowledge Through a World War II |
| 歴史 1955-59 前衛 黒田、丸山、アノテルとメル Avant-Garde Kuroda, Maruyama, Anothel and Merz | 歴史 1960-63 反前衛 森田、アサノハイトムとアノセル Anti-Art Morioka, Asano Hitomu and Anosel | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 6-49、現代美術、異文化 Reductionism & Diversity 1960s, Contemporary Art, Diversity | |
| 歴史 1980-84 脱前衛 田中、アノセルとメル、 アノセルとメル The Avant-Garde Tanaka, Anosel and Merz, Anosel and Merz | 歴史 1985-94 再前衛 横倉、ニューアヴァンギャルド 横倉、ニューアヴァンギャルド Surrealism Yokoyama, Neo-Avant-Garde | 歴史 1995-2009 マネリスムと多様性 横倉、ニューアヴァンギャルド、アノセルとメル Modernism & Diversity Yokoyama, Neo-Avant-Garde, Anosel and Merz | |
| 歴史 2010-14 抑前衛 アノセルとメル、 アノセルとメル Expansive Avant-Garde Anosel and Merz, Anosel and Merz | | | |

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部



川俣正



大竹伸朗



吉澤美香



中村一美

Chapter 5 1980-1984

脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

5d ポストモダニズムと循環史観

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|---|--|
| 歴史 1910s ヒューザン画と草子誌 <small>From Huzar's Art to Grass</small> | 歴史 1920s 大正前期美術家運動 <small>Major Movements in the Taisho Period</small> | 歴史 1930-40s マニエリスム、プロレタリア美術、戦時画 <small>Modernism, Proletarian Art, War Paintings</small> |
| 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>超戦後の表現状況</small> Surrealism & Diversity <small>The State of Postwar Art in Occupied Japan</small> | 歴史 1955-59 前衛 具体、光畑、アノボルとメル Avant-Garde <small>From Hara's Concrete to Merz</small> | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 60年代、概念画、具体画 Reductionism & Diversity <small>Conceptualism, Concrete, Merz</small> |
| 歴史 1960-63 反芸術 具体、光畑、アノボルとメル Anti-Art <small>From Hara's Concrete to Merz</small> | 歴史 1985-94 再表現主義 横尾龍二、アノボルとメル 東京のインターナショナル Revivalism <small>From Hara's Concrete to Merz</small> | 歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 横尾龍二、ユース・クワット、アノボルとメル Modernism & Diversity <small>From Hara's Concrete to Merz</small> |
| 歴史 2010-14 脱前衛 アノボルとメル、具体、光畑、アノボルとメル Post-Avant-Garde <small>From Hara's Concrete to Merz</small> | | |

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義



スージー甘金



湯村輝彦



太田豊一



日比野克彦

Chapter 5 1980-1984

脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

5d ポストモダニズムと循環史観

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|---|--|
| 1910s 脱前衛 日本グラフィック展 1910-1919 | 1920s 脱前衛 日本グラフィック展 1920-1929 | 1930-40s マニエリスム フォルダリズム 1930-1939 |
| 1945-54 シュルレアリスムと多様性 脱前衛の復活 Surrealism & Diversity The Revival of Avant-Garde in World War II | 1955-59 前衛 脱前衛 1955-1959 | 1964-79 還元主義と多様性 1960s 還元主義 Reductionism & Diversity 1960s, 1970s, 1980s |
| 1960-63 前衛 脱前衛 1960-1963 | 1960-63 反芸術 1960-1963 | 1985-2009 マニエリスムと多様性 1980s, 1990s, 2000s Mannerism & Diversity The Revival of Mannerism |
| 1984 脱前衛 日本グラフィック展 1984 | 1985-94 再興芸術 1985-1994 | |
| 2010-14 脱前衛 日本グラフィック展 2010-2014 | | |

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

(図版なし)

Chapter 5 1980-1984

脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

5d **ポストモダニズムと循環史観**

| 前衛 Avant-Garde | 反前衛 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|---|--|
| 歴史 1910s ヒューザン派と前衛派 Huezan School and Avant-Garde | 歴史 1920s 大正前衛派展覧会 Taisho Avant-Garde Exhibition | 歴史 1930-40s マルティン・グリム、 ワシントン・グレン、 シュルレアリスム、 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 Surrealism & Diversity The Road to Knowledge Through a World War |
| 歴史 1955-59 前衛 展覧会、丸根、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibition, Maruaki, Avant-Garde | 歴史 1960-63 反前衛 展覧会、アヴァンギャルド・センター Anti-Art Exhibition, Avant-Garde Center | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 4-09、還元主義、多様性 Reductionism & Diversity 4-09, Reductionism, Diversity |
| 歴史 1980-84 脱前衛 展覧会、アヴァンギャルド 展覧会、アヴァンギャルド The Avant-Garde Exhibition, Avant-Garde Exhibition, Avant-Garde | 歴史 1985-94 再前衛派 展覧会、ニュー・アヴァンギャルド 展覧会、ニュー・アヴァンギャルド Surrealism Exhibition, New Avant-Garde Exhibition, New Avant-Garde | 歴史 1995-2009 マネリスムと多様性 展覧会、マネリスム・アヴァンギャルド Manerism & Diversity Exhibition, Manerism, Avant-Garde |
| 歴史 2010-14 抑圧前衛 展覧会、抑圧前衛 展覧会、抑圧前衛 Oppressive Avant-Garde Exhibition, Oppressive Exhibition, Oppressive | | |

5d ポストモダニズムと循環史観



Chapter 6 1985-1994
 再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションニズムへ



森村泰昌



石原友明

中ハシクシゲ



Chapter 6 1985-1994

再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションズムへ

- 6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ
- 6b 東京シミュレーションズム前夜
- 6c 東京シミュレーションズム(1)村上隆と中村政人
- 6d 東京シミュレーションズム(2)小沢剛と会田誠

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-Art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| 歴史 1910s ヒューザン画と彫刻家 <small>Henry Thoreau and Sculptors</small> | 歴史 1920s 大正前期美術家運動 <small>Daisho Period Art Movement</small> | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フォトリグラフ、 絵画 <small>Manierism, Photography, Painting</small> |
| 1955-59 前衛 具体、 丸根、 アンドロメダ <small>Avant-Garde</small> <small>Concrete, Maru, Andromeda</small> | 1960-63 反芸術 具体、 アダム・ハイトマン・センター <small>Anti-Art</small> <small>Concrete, Adam Hightman Center</small> | 1945-54 シュルレアリスムと多様性 物象論の発展と反 <small>Surrealism & Diversity</small> <small>The Rise of Object Theory and Anti-Object</small> |
| 1980-84 脱前衛 80年代パフォーマンスと 日本グラフィック <small>Trans-Avant-Garde</small> <small>80s Performance and Japanese Graphics</small> | 1985-94 再現芸術 東京ニューウェーブ 東京シミュレーションズムへ <small>Reproduction Art</small> <small>Tokyo New Wave</small> <small>Tokyo Simulationism</small> | 1964-79 還元主義と多様性 4-09、 概念派、 具体派 <small>Reductionism & Diversity</small> <small>Conceptualism, Concrete, Mono-ha</small> |
| 2010-14 抑圧前衛 アラビア海抜の表現主義 反芸術主義 <small>Expansive Avant-Garde</small> <small>Arabian Elevation of Expressionism</small> <small>Anti-Artism</small> | | 1995-2009 マニエリスムと多様性 村上隆、 コーレ・ブワット、 アイクロトップ <small>Manierism & Diversity</small> <small>Murakami, Corneille, Aikrotop</small> |

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ



宮島達男

Chapter 6 1985-1994

再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションニズムへ

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ

6b 東京シミュレーションニズム前夜

6c 東京シミュレーションニズム(1)村上隆と中村政人

6d 東京シミュレーションニズム(2)小沢剛と会田誠

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|---|--|
| <p>Chapter 1910s ヒューザン画と彫刻家 Huzar, Sculptors and Sculptors</p> | <p>Chapter 1920s 大正前期美術家運動 Taisho Movement of the Avant-Garde</p> | <p>Chapter 1930-40s マルティン・グリム、 フジシタツトシ、豊田道 Mitsuhisa, Fujiwara, Aki Mitsuhisa, Fujiwara, Aki Mitsuhisa</p> |
| <p>Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超戦後の表現状況 Surrealism & Diversity The State of the Art: Postwar to 1945</p> | <p>Chapter 1955-59 前衛 豊田、丸岡、フジシタとマルティン・グリム Avant-Garde Mitsuhisa, Fujiwara, Aki Mitsuhisa</p> | <p>Chapter 1964-79 還元主義と多様性 4-09、渡辺美津子、高橋繁 Reductionism & Diversity Mitsuhisa, Fujiwara, Aki Mitsuhisa</p> |
| <p>Chapter 1980-84 脱前衛 80年代のポストモダンニズムと日本がアートニズム Trans-Avant-Garde Mitsuhisa, Fujiwara, Aki Mitsuhisa</p> | <p>Chapter 1985-94 再現芸術 東京シミュレーションニズム 東京シミュレーションニズム Tokyo Simulationism Mitsuhisa, Fujiwara, Aki Mitsuhisa</p> | <p>Chapter 1995-2009 マネジリスムと多様性 村上隆、村上淳、中村政人、小沢剛、会田誠 Maneizism & Diversity Mitsuhisa, Fujiwara, Aki Mitsuhisa</p> |
| <p>Chapter 2010-14 抑圧前衛 アウェアな表現の表現と表現 Epressive Avant-Garde Mitsuhisa, Fujiwara, Aki Mitsuhisa</p> | | |

6b 東京シミュレーションニズム前夜



村上隆



中村政人



福田美蘭



柳幸典



笠原恵実子

Chapter 6 1985-1994

再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションニズムへ

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ

6b 東京シミュレーションニズム前夜

6c 東京シミュレーションニズム(1)村上隆と中村政人

6d 東京シミュレーションニズム(2)小沢剛と会田誠

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-Art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| 歴史 1910s ヒューザン画と草土社 Huzar Paintings and Kadamu Club | 歴史 1920s 大正前期美術家運動 Taisho Movement of the Artists Group | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フロシオリア主義、 戦時畫 Surrealism, Fascism, War Paintings |
| 1955-59 前衛 森村、丸岡、アノニムズ Avant-Garde Mori, Maruoka, Anonymous | 1960-63 反芸術 小沢、アサノ、イトコ、センネー Anti-Art Oze, Asano, Itoko, Sennei | 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術家運動 Surrealism & Diversity Postwar Movement of Artists |
| 1980-84 脱前衛 90年代シミュレーションニズム 日本がマニエリスム Trans-Avant-Garde 1990s Simulationism Japan as Mannerism | 1985-94 再現芸術 村上、中村、小沢、会田 Simulationism Murakami, Nakamura, Oze, Arita | 1964-79 還元主義と多様性 4-09、 橋本武、 橋本隆 Reductionism & Diversity Hasegawa, Hasegawa |
| 2010-14 抑圧前衛 アラビア美術の復興と戦乱 Repressive Avant-Garde Arab Art Revival and War | | 1995-2009 マニエリスムと多様性 村上隆、小沢剛、アイトコ、会田誠 Mannerism & Diversity Murakami, Oze, Itoko, Arita |

6c 東京シミュレーションニズム(1)村上隆と中村政人



小沢剛



会田誠

Chapter 6 1985-1994

再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションニズムへ

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ

6b 東京シミュレーションニズム前夜

6c 東京シミュレーションニズム(1)村上隆と中村政人

6d 東京シミュレーションニズム(2)小沢剛と会田誠

| 前期 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|--|--|
| 歴史 1910s ヒューザン画と草土社 Huzar School and Kutsukai | 歴史 1920s 大正前期美術家運動 Taisho Movement of the Artists Group | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フロシオリア主義、 戦時畫 Surrealism, Formalism, War Painting |
| 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術運動 Surrealism & Diversity The Post-war Art Movement in Japan | 歴史 1955-59 前衛 具体、 丸山、 アヴァンギャルド Avant-Garde Concrete, Maruyama, Avant-Garde | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 64年、 概念画、 具体派 Reductionism & Diversity 1964, Conceptual Art, Concrete |
| 歴史 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本アヴァンギャルド派 Trans-Avant-Garde The 1980s Avant-Garde and Japanese Avant-Garde | 歴史 1985-94 再現芸術 東京ニューウェーブと 東京シミュレーションニズムへ Reproduction Art Tokyo New Wave and Tokyo Simulationism | 歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 村上隆、 コーレオグラフィック、 アイドロポップ Mannerism & Diversity Takashi Murakami, Coreography, Aïdopop |
| 歴史 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術運動と 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde The Avant-Garde Art Movement and Anti-art | | |

6d 東京シミュレーションニズム(2)小沢剛と会田誠

Chapter 7
マニエリスムと多様性
悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ
Mannerism & Diversity
Bad Place, Superflat, Micropop

- 7a 権威主義とマニエリスム 98
Authoritarianism and Mannerism
- 7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会
Modernity, Studio Shokudo, The Group 1960
- 7c 悪い場所、スーパーフラット、方法 106
Bad Place, Superflat, Method
- 7d 美と価値とインフラ 118
Beauty, Value and the Infrastructure
- 7e マイクロポップ、美術内美術、チンポム 113
Micropop, Inside Art, Chin-Pom

Japan in 1995
平成7年1月、東京国立近代美術館で開催された「悪い場所」展
March 1995: *Bad Place* exhibition at the National Museum of Modern Art, Tokyo

1995-2009

Chapter 7 1995-2009
マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

- 7a 快楽主義とマニエリスム
- 7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会
- 7c 悪い場所、スーパーフラット、方法
- 7d 美と価値とインフラ
- 7e マイクロポップ、美術内美術、チンポム

| | | | |
|--|---|---|--|
| 前衛 Avant-Garde 1910s <small>ヒューマン主義と権威主義</small> <small>Humanism and Authoritarianism</small> | 反芸術 Anti-art 1920s <small>大正前期美術界派運動</small> <small>Daisho Period Art Movement</small> | 多様性 Diversity 1930-40s <small>シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦時畫</small> <small>Surrealism, Proletarian Art, War Painting</small> | |
| 1955-59 前衛 <small>芸術、北村、アソビとカネメ</small> <small>Art, Asahi, Kaname</small> Avant-Garde <small>Art Movement and Exhibition</small> | 1960-63 反芸術 <small>赤木、大塚、アソビとカネメ</small> <small>Akashi, Otsuka, Asahi and Kaname</small> Anti-Art <small>Art Movement and Exhibition</small> | 1964-79 還元主義と多様性 <small>40年、現代美術、日本画</small> <small>40 Years, Contemporary Art, Japanese Painting</small> Reductionism & Diversity <small>Art Movement and Exhibition</small> | |
| 1980-84 脱前衛 <small>80年代アソビとカネメと日本画でアソビ</small> <small>1980s Asahi and Kaname and Japanese Painting with Asahi</small> Trans-Avant-Garde <small>Art Movement and Exhibition</small> | 1985-94 再現芸術 <small>複製アート、アソビとカネメ、複製アートとアソビとカネメ</small> <small>Reproduction Art, Asahi and Kaname, Reproduction Art and Asahi and Kaname</small> Simulationism <small>Art Movement and Exhibition</small> | 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ</small> <small>Bad Place, Superflat, Micropop</small> Mannerism & Diversity <small>Art Movement and Exhibition</small> | |
| 2010-14 抑圧前衛 <small>アソビとカネメの抑圧前衛</small> <small>Asahi and Kaname's Repressive Avant-Garde</small> Repressive Avant-Garde <small>Art Movement and Exhibition</small> | | | |

Chapter 7 1995-2009
マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ



奈良美智



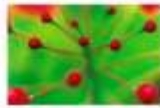
小川信治



山口晃



鴻池朋子



蛭川実花



できやよい



川島秀明



天明屋尚



小谷元彦



宮永愛子

Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

7a 快樂主義とマニエリスム

7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会

7c 悪い場所、スーパーフラット、方法

7d 美と価値とインフラ

7e マイクロポップ、美術内美術、チンポム

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|---|---|
| Timeline 1910s ヒューマン主義と啓蒙主義 <small>Humanism and Enlightenment</small> | Timeline 1920s 大正開港期後派運動 <small>Shōwa Kaikōkai Kōha Undō</small> | Timeline 1930-40s マニエリスム、プロレタリア美術、戦時畫 <small>Mannerism, Proletarian Art, War Paintings</small> |
| Timeline 1955-59 前衛 具体、光畑、アソビとカネヨ Avant-Garde <small>Concrete, Mitsunobu, Asobi and Kaneyoshi</small> | Timeline 1960-63 反芸術 具体、光畑、アソビとカネヨ Anti-Art <small>Concrete, Mitsunobu, Asobi and Kaneyoshi</small> | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後派の表現方法 Surrealism & Diversity <small>Post-war School's Methods of Expression</small> |
| Timeline 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本アヴァンギャルド派 Trans-Avant-Garde <small>1980s Avant-Garde and Japanese Avant-Garde School</small> | Timeline 1985-94 再現芸術 戦後ニューアヴァンギャルド 戦後ニューアヴァンギャルド派 Simulacrum <small>Post-war Neo-Avant-Garde and Post-war Neo-Avant-Garde School</small> | Timeline 1964-79 還元主義と多様性 4-09、渡辺武、高木繁 Reductionism & Diversity <small>4-09, Watanabe Tetsu, Takagi Shigeo</small> |
| Timeline 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の表現方法 Repressive Avant-Garde <small>Methods of Expression of Avant-Garde Art</small> | | Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity <small>Bad Places, Superflat, Micropop</small> |

7a 快樂主義とマニエリスム



杉戸洋



須田悦弘



木村太陽

Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

7a 快楽主義とマニエリスム

7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会

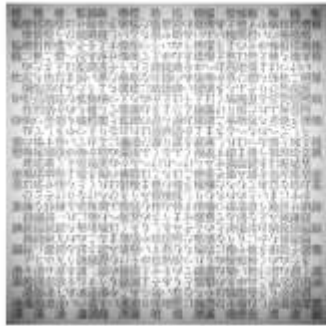
7c 悪い場所、スーパーフラット、方法

7d 美と価値とインフラ

7e マイクロポップ、美術内美術、チンポム

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity | |
|---|---|--|---|
| Timeline 1910s ヒュアザン画会 Hyuazan Gakai | Timeline 1920s 大正画壇美術家連盟 Daito Gakutai Bijutsu Ka Renmei | Timeline 1930-40s マニエリスム、 フロシオリア主義、無意識 Manierism, Formalism, AI, The Unconscious | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 芸術家の連盟 Surrealism & Diversity The Union of Artists |
| Timeline 1955-59 前衛 芸術、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde Art, Masses, Avant-Garde | Timeline 1960-63 反芸術 美術、大衆、パフォーマンス Anti-Art Art, Masses, Performance | Timeline 1964-79 還元主義と多様性 4-09、現代主義、無意識 Reductionism & Diversity Modernism, The Unconscious | Timeline 1975-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、 マイクロポップ Manierism & Diversity Bad Places, Superflat, Micro-pop |
| Timeline 1980-84 脱前衛 90年代アヴァンギャルド 日本アヴァンギャルド Trans-Avant-Garde 1990s Avant-Garde, Japanese Avant-Garde | Timeline 1985-94 再芸術論 構造主義、スーパーフラット 難解なコンプレックス Re-art Structuralism, Superflat, Complex | | |
| Timeline 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術家連盟 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde Avant-Garde Artists Union, Anti-artism | | | |

7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会



中ザワヒデキ

Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

- 7a 快楽主義とマニエリスム
- 7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会
- 7c **悪い場所、スーパーフラット、方法**
- 7d 美と価値とインフラ
- 7e マイクロポップ、美術内美術、チンゴボム

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| <p>Timeline 1910s ヒューズ・ガードと学生社 Hewes Guards and Student Society</p> | <p>Timeline 1920s 大正美術界の反芸術 Taisho Movement in the Tokyo Region</p> | <p>Timeline 1930-40s マルセル・ブリアール、フロレンス・アール、野矢将 Marcel Brödeur, Florence Arl, Noe Yano</p> <p>Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスム美術協会 Surrealism & Diversity The School of Surrealist Artists in Allied Japan</p> |
| <p>Timeline 1955-59 前衛 展覧、丸山、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibitions, Maruyama, Avant-Garde</p> | <p>Timeline 1960-63 反芸術 美術「アヴァンギャルド」センター Anti-Art The Center for "Avant-Garde" Art</p> | <p>Timeline 1964-79 還元主義と多様性 4-09、渡辺美津子、高木繁 Reductionism & Diversity Hiroyuki, Tomoko Watanabe, Shigeaki Takagi</p> |
| <p>Timeline 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルド展 日本アヴァンギャルド展 Trans-Avant-Garde The 1980s Avant-Garde Exhibition Japan Avant-Garde Exhibition</p> | <p>Timeline 1985-94 再芸術論 展覧「スーパーアヴァンギャルド」 展覧「インフレーション・アート」 Re-art Exhibitions "Super-Avant-Garde" Exhibitions "Inflation Art"</p> | <p>Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Manierism & Diversity Bad Places, Superflat, Micropop</p> |
| <p>Timeline 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の表現と権力 展覧「抑圧前衛」 Oppressive Avant-Garde The Expression of Avant-Garde Art and Power Exhibitions "Oppressive Avant-Garde"</p> | | |

7c 悪い場所、スーパーフラット、方法

(図版なし)

Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

7a 快樂主義とマニエリスム

7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会

7c 悪い場所、スーパーフラット、方法

7d 美と価値とインフラ

7e マイクロポップ、美術内美術、チンゴボム

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity | |
|--|--|--|---|
| Chapter 1910s ヒュアザグランドとダダ Hyoza Grand and Dada | Chapter 1920s 大正前期美術家運動 Taisho Period Artists' Movement | Chapter 1930-40s マルセル・ブリューン、 フジシヅカ美術館、豊島園 Marcel Bruehl, Fujishizuka Museum, Toyoko Garden | Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Postwar Japanese Art |
| Chapter 1955-59 前衛 豊島、丸根、アソビとカネ Avant-Garde Ishikawa, Maruaki, Asobi & Kane | Chapter 1960-63 反芸術 赤井、アサヒバウトリアーセンター Anti-Art Akai, Asahi Boutria Center | Chapter 1964-79 還元主義と多様性 丸根、豊島園、豊島園 Reductionism & Diversity Maruaki, Toyoko Garden, Toyoko Garden | |
| Chapter 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本がアヴァンギャルド Trans-Avant-Garde The 1980s Avant-Garde and Japan as Avant-Garde | Chapter 1985-94 再芸術論 横倉ニッポン・アヴァンギャルド 横倉のニッポン・アヴァンギャルド Re-Artism Yokoyama's Japan Avant-Garde Yokoyama's Japan Avant-Garde | Chapter 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、 マイクロポップ Manierism & Diversity Bad Places, Superflat, Micro-pop | |
| Chapter 2010-14 抑収前衛 アヴァンギャルド美術家連合会 抑収前衛 Eggspressive Avant-Garde The Association of Avant-Garde Artists & Bad Places | | | |

7d 美と価値とインフラ



Chim↑Pom



名和晃平

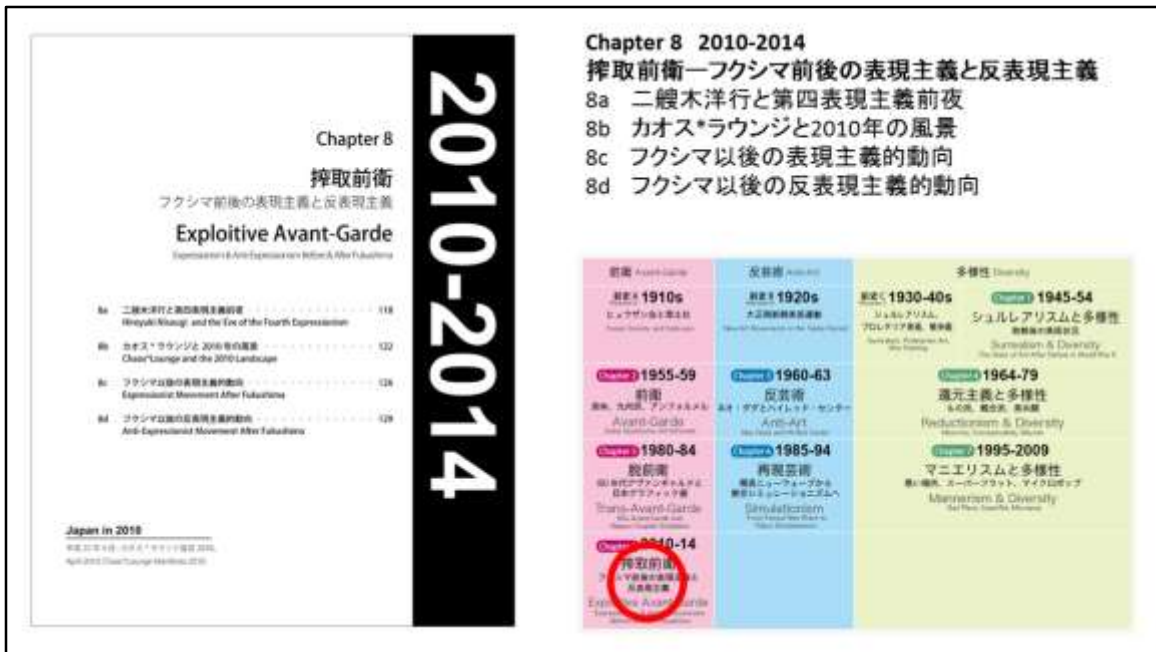
Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

- 7a 快樂主義とマニエリスム
- 7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会
- 7c 悪い場所、スーパーフラット、方法
- 7d 美と価値とインフラ
- 7e マイクロポップ、美術内美術、チン↑ポム**

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|---|--|
| 1910s ヒューマンイズムと啓蒙主義 Humanism and Enlightenment | 1920s 大正期前衛美術運動 Daidai Period Avant-Garde Movement | 1930-40s マニエリスム、プロレタリア美術、戦時体制 Maneirism, Proletarian Art, War System |
| 1955-59 前衛 展覧: 丸の内、アヴァンギャルド展 Avant-Garde Exhibition: Marunouchi, Avant-Garde Exhibition | 1960-63 反芸術 展覧: アダム・ヘイトランド・センター Anti-Art Exhibition: Adam Hightland Center | 1945-54 シュルレアリスムと多様性 展覧: 戦後美術展 Surrealism & Diversity Exhibition: Postwar Art Exhibition |
| 1980-84 脱前衛 展覧: 90年代アヴァンギャルド展 日本がアヴァンギャルド展 Trans-Avant-Garde Exhibition: 1990s Avant-Garde Exhibition, Japan's Avant-Garde Exhibition | 1985-94 再誕芸術 展覧: ニューアヴァンギャルド展 展覧: ニューアヴァンギャルド展 Revival Art Exhibition: New Avant-Garde Exhibition, Exhibition: New Avant-Garde Exhibition | 1964-79 還元主義と多様性 展覧: 現代美術展 Reductionism & Diversity Exhibition: Contemporary Art Exhibition |
| 2010-14 抑圧前衛 展覧: アヴァンギャルド展 展覧: アヴァンギャルド展 Oppressive Avant-Garde Exhibition: Avant-Garde Exhibition, Exhibition: Avant-Garde Exhibition | | 1995-2009 マニエリスムと多様性 展覧: マイクロポップ展 Maneirism & Diversity Exhibition: Micro Pop Exhibition |

7e マイクロポップ、美術内美術、チン↑ポム



Chapter 8 2010-2014
 搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義



二艘木洋行

Chapter 8 2010-2014

搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜

8b カオス*ラウンジと2010年の風景

8c フクシマ以後の表現主義的動向

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

| 前衛 Avant-Garde | 反芸術 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| 歴史 1910s ヒューザン・シュルレアリスム <small>French Surrealism and Dadaism</small> | 歴史 1920s 本主義的表現主義運動 <small>Historic Manifestations of the "Avant-Garde"</small> | 歴史 1930-40s マニエリスム <small>Post-WWII Surrealism, Abstractism, Neo-Expressionism, Postmodernism</small> |
| 歴史 1945-54 前衛 <small>Avant-Garde</small> | 歴史 1960-63 反芸術 <small>Anti-Art</small> | 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small> |
| 歴史 1955-59 前衛 <small>Avant-Garde</small> | 歴史 1964-79 反芸術 <small>Anti-Art</small> | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 <small>Reductionism & Diversity</small> |
| 歴史 1980-84 反前衛 <small>Trans-Avant-Garde</small> | 歴史 1985-94 再芸術主義 <small>Re-artism</small> | 歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>Manierism & Diversity</small> |
| 歴史 2010-14 搾取前衛 <small>Exploitation Avant-Garde</small> | | |

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜



藤城睦



梅沢和木



都築潤



齋藤祐平

Chapter 8 2010-2014

搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜

8b **カオス*ラウンジと2010年の風景**

8c フクシマ以後の表現主義的動向

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

| 前衛 Avant-garde | 反表現 Anti-art | 多様性 Diversity |
|--|--|---|
| Timeline 1910s ヒューマン主義と象徴主義 Humanism and Symbolism | Timeline 1920s 本主義的表現主義運動 Nationalist Expressionist Movement | Timeline 1930-40s マニエリスム、シュルレアリスム、抽象主義 Mannerism, Surrealism, Abstraction Surrealism, Abstractism, etc. |
| Timeline 1955-59 前衛 象徴、本主義、70年代の象徴主義 Avant-Garde Symbolism, Nationalism, etc. | Timeline 1960-63 反表現 象徴、70年代の象徴主義 Anti-Art Symbolism, etc. | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 象徴主義の象徴主義 Surrealism & Diversity Symbolism of Symbolism, etc. |
| Timeline 1980-84 脱前衛 象徴主義の象徴主義、日本がポストモダン Post-Avant-Garde Symbolism of Symbolism, etc. | Timeline 1985-94 再現芸術 象徴主義の象徴主義、日本がポストモダン Simulacrum Symbolism of Symbolism, etc. | Timeline 1964-79 還元主義と多様性 象徴主義、象徴主義 Reductionism & Diversity Symbolism, Symbolism, etc. |
| Timeline 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitative Avant-Garde Expressionism before and after Fukushima, etc. | | Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 象徴主義、象徴主義、象徴主義 Mannerism & Diversity Symbolism, Symbolism, Symbolism, etc. |

8b カオス*ラウンジと2010年の風景



あおいうに



内田百合香

Chapter 8 2010-2014

搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜

8b カオス*ラウンジと2010年の風景

8c **フクシマ以後の表現主義的動向**

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

| 前衛 Avant-Garde | 反前衛 Anti-Avant | 多様性 Diversity |
|---|---|--|
| Timeline 1910s ヒューマン主義と前衛主義 <small>Humanism and Avant-Garde</small> | Timeline 1920s 本道前衛主義反動 <small>Reaction Movement in the Avant-Garde</small> | Timeline 1930-40s マニエリスム、 フォルム主義、 象徴主義 <small>Stylism, Formalism, Symbolism</small> |
| Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後派の表現主義 <small>Surrealism & Diversity Postwar Expressionism</small> | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後派の表現主義 <small>Surrealism & Diversity Postwar Expressionism</small> | Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後派の表現主義 <small>Surrealism & Diversity Postwar Expressionism</small> |
| Timeline 1955-59 前衛 具体、 光畑、 フォルム主義 <small>Avant-Garde Concrete, Mitsumasa, Formalism</small> | Timeline 1960-63 反前衛 具体、 アサヒ、 イノトキ、 センター <small>Anti-Avant Concrete, Asahi, Inotoki, Center</small> | Timeline 1964-79 還元主義と多様性 6409、 渡辺武、 高木繁 <small>Reductionism & Diversity 6409, Watanabe, Takahashi</small> |
| Timeline 1980-84 脱前衛 80年代のポストモダン主義と 日本がポストモダン主義 <small>Trans-Avant-Garde Postmodernism in Japan</small> | Timeline 1985-94 再現芸術 複製、ニューメディア、デジタル 複製、インターネット、デジタル <small>Simulationism Reproduction, New Media, Digital</small> | Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 戦後派、ニューメディア、デジタル <small>Stylism & Diversity Postwar, New Media, Digital</small> |
| Timeline 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 <small>Exploitation Avant-Garde Expressionism and Anti-Expressionism</small> | | |

8c フクシマ以後の表現主義的動向



高橋大輔



竹内広太

Chapter 8 2010-2014

搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜

8b カオス*ラウンジと2010年の風景

8c フクシマ以後の表現主義的動向

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

| 前衛 Avant-Garde | 反表現 Anti-art | 多様性 Diversity |
|---|--|--|
| 歴史 1910s ヒューザン画と表現主義 <small>Husserlian Art and Expressionism</small> | 歴史 1920s 本主義的表現主義運動 <small>Essentialist Expressionist Movement</small> | 歴史 1930-40s マニエリスム、 フォルム主義、 象徴主義 <small>Mannerism, Formalism, Symbolism</small> |
| 歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small> <small>The Road to Knowledge Through a World War II</small> | 歴史 1955-59 前衛 <small>Avant-Garde</small> <small>意味、本質、フクシマをめぐって</small> | 歴史 1964-79 還元主義と多様性 <small>Reductionism & Diversity</small> <small>40年、統合性、異質性</small> |
| 歴史 1960-63 反表現 <small>Anti-Art</small> <small>意味、リアリティ、ポスト・モダン</small> | 歴史 1980-84 脱前衛 <small>Trans-Avant-Garde</small> <small>90年代のポスト・モダニズムと日本</small> | 歴史 1985-94 再現芸術 <small>Simulation</small> <small>複製、コピー、フェイク、ポスト・モダニズム</small> |
| 歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>Mannerism & Diversity</small> <small>意味、リアリティ、ポスト・モダニズム</small> | 歴史 2010-14 搾取前衛 <small>Exploitation Avant-Garde</small> <small>フクシマ前後の表現主義と反表現主義</small> | |

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

大急ぎでの閲覧おつかれさまでした。
あとは最後に2つほど話します。

大急ぎでの閲覧おつかれさまでした。
あとは最後に2つほど話します。

| | | |
|---|--|--|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>前史 A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Huzan Society and Koshitsu-sha</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>前史 B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>前史 C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | <p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> |

この表を出しながらお話ししますが、12月に黒瀬陽平さんと五反田にあるゲンロンで対談した際、東浩紀さんがこの表を面白がってくれて素晴らしい指摘をしてくださいました。それは、この表が弁証法に見えるということでした。

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> | <p>多様性 Diversity</p> | |
| <p>前史A 1910s ヒューゼンと草土社 Gutai Society of Tokyo-iga</p> | <p>前史B 1920s 大正期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p> | <p>前史C 1930-40s シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> | <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59 前衛 Avant-Garde Gutai, Fluxus, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p> | <p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p> | |
| <p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphis Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p> | |
| <p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | | |

すなわちピンクの前衛がテーゼ(正)、

| | | |
|--|---|--|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1910s</p> <p>ヒューゲンと草土社 Gyuten Hogen and Koshido-ka</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>1920s</p> <p>反芸術運動 New Art Movements in the 1920s Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>前史 1930-40s FIGURE 1</p> <p>シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> <p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1950s Japanese Avant-Garde Art Movement</p> | <p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>1960s Japanese Anti-Art Movement</p> | <p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde</p> <p>80s Avant-Garde and Japan Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism</p> <p>From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity</p> <p>Bad Place, Superflat, Micropop</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde</p> <p>Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | |

続く青の反芸術がアンチテーゼ(反)、

| | | |
|--|---|---|
| <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1910s</p> <p>ヒュウザンと草土社 Hyuzaan and Koshu-sha</p> | <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>1920s</p> <p>正統期前衛美術運動 New Avant-Garde in the Tokyo Period</p> | <p>多様性 Diversity</p> <p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争時 Surrealism, Proletarian War Painting</p> <p>シュルレアリスムと多様性 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p> |
| <p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1960s</p> <p>Avant-Garde Gaku, Aoyakusha, Art Informel</p> | <p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反前衛 Anti-Art</p> <p>1960s</p> <p>Anti-Art Neo-Dada and 19-Net Center</p> | <p>Chapter 4 1964-</p> <p>還元主義と多様性 Reductionism & Diversity</p> <p>1960s</p> <p>Reductionism & Diversity Minimalism, Conceptualism, Bayreuth</p> |
| <p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展</p> <p>Trans-Avant-Garde</p> <p>80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p> | <p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ</p> <p>Simulationism</p> <p>From Kansai & New Wave to Tokyo Simulationism</p> | <p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ</p> <p>Mannerism & Diversity</p> <p>Bad Place, Superflat, Micropop</p> |
| <p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義</p> <p>Exploitive Avant-Garde</p> <p>Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p> | | |

そして緑の多様性がジーンテーゼ(合)なのではないかということです。これは、非常に良い示唆をいただいたと僕自身は思っています。

また、黒瀬さんは単純に、中ザワさんの美術史はけっきょく「良い」時代と「悪い」時代のふたつしかない、ピンクの前衛と青の反芸術が「良い」時代で、緑の多様性が「悪い」時代だと看破してくださいました。



これも僕は、著者としてははっきりとは自分から言い出しにくいことなのですが、まさしくその通りなわけです。

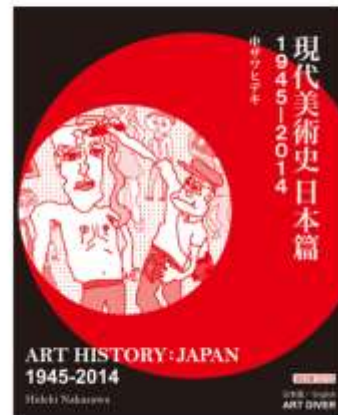
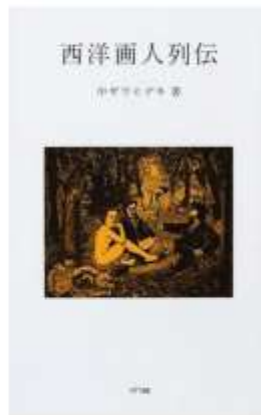


ただ、本書で繰り返されている僕自身の言い方としては、「前衛」と「反芸術」のふたつが「芸術のための芸術」、「多様性」の時代が「人生のための芸術」ということになります。僕自身の作品歴との関わりでいえば、前衛と反芸術の時代には時代を謳歌する作品を作っていました。それがヘタうまやバカCGだったわけです。反対に多様性の時代には時代に反抗する作品を作っていました。それが方法主義だったわけです。

次の話題です。

次が、最後の話題です。

- 【1】 近代美術史テキスト(1989)
【2】 西洋画人列伝(2001)



本書に先行する美術史の著作が二冊あり、それらの序文にすでに本書と同じ態度が示されているということです。



先に、2冊目の著書の「西洋画人列伝」の序文から見ていきます。

優れた美には、理念がある。理念の呈示には、必然がある。その必然を連ねたものが、歴史である。だから、美術史には美の普遍法則が顕現している。—「美術史は理論である」、これが、一見こまぎれの本書を背後から支える骨格である。

しかし、これでは最初から破綻をきたしていないとも限らない。歴史学における「歴史法則主義」は、個別に事象を見なくては真理が曇ってしまうとする「歴史主義」に、すでに批判されているのである。すなわち、普遍法則という物語が想定されること自体、欺瞞とされるのだ。

というふうに始まりますが、けっきょくは正しくはなくてもこういうベクトルを希求することはなされなければならないのではないかという立場で書かれているわけです。



そして最後に僕が26歳の時、25年前の1989年に書かれた最初の著作の『近代美術史テキスト』の序文です。

誰の言葉だったかすっかり忘れてしまいましたが、ある現代美術家が、「あなたが影響を受けた過去の美術家は？」と質問され、「……？？！！ 私は過去の美術家に影響を受けたのではない。私は過去の美術家に影響するのだ！」とのたまわったという話があります。いったいこれはどういう意味なのでしょう？

そもそも歴史とは何かと言いますと、それは過去の事実を受動的に記述する行為のことを指すのではなく、現在の目をもって、過去の本質を能動的に読み取る行為のことをいう筈です。

(中略)

要するに「現在の自分が歴史をつくる」ということが言いたかったのです。

(中略)

歴史とは、あるいはすべての人間の行為は、本来このように徹頭徹尾「現在の自分」から端を発するのだという視点に立って、本書を読んでいただければ幸甚です。

と書かれていますが、この考え方は51歳になった2014年の著作の時点でも基本的に変わっていなかったわけです。



現代美術史日本篇
1945-2014

ART HISTORY: JAPAN
1945-2014

25年前に放った矢が今日のこのシンポジウムまで議題として届いているということ
を述べさせていただいたうえで、たいへん長くなりましたが僕からの最初のパウ
プレゼンを終わらせていただきます。どうも、ありがとうございました。